

京古本や往来

煎茶 身 辺

小川 後 楽

暑いとか寒いとかと、典型的な日本人らしく天候を話題にしたたり、季節の花や、時には殊勝にも掛軸のことを話したりして、煎茶の稽古場に座るのは、月のうち日数にして十日足らずだろう。気の張る献茶や、少々苦勞のともなう茶会が、それでも月一回ぐらいいはある。この責務の暇、もっぱらわが身辺が忙しのは、煎茶史にか、わる原稿執筆に熱をあげているからで、今まで多少ながらも解っているつもりで、雑誌の連載なども引き受けたのだが、よりくわしくと思いが調べるうちに、次ぎくと思いがけない事実があらわれて、楽しいながらも、身も心もあわてふためくという始末である。

つた人物が、江戸時代中期以降幕末に至るまでの、煎茶史の上で特筆されるべき人物と確信しているのだが、それぞれの人物を中心に、目下横のつながりを研究中有る。しかしそれでも、これらの人物とまったく関係ないと思われるところから、「煎茶」にか、わる事跡を発見したりすることもある。たとえば、年代的に云えば、売茶翁よりも古い時代、ということ、まだ京都に煎茶の遊びというか、煎茶趣味というか、そういういたものが人々の間で話題にならない時に、後水尾天皇の第八皇子になられる堯恕法親王が、意識的に煎茶だけを生涯愛されたという記録に接し、あらためて検討の余地を感じたりもするのである。

親王の妹にあたられる當子内親王を母とされ、親王の甥にあたられるが、その家熙の言行録として有名な山科道安のまとめた「槐記」には、「生薄茶をまいり、煎茶のみなり」と書かれており、また「歌と茶を、あれほどに忌まれしも、見る処ありてなるべし」と、その人と異なる生き方を、家熙が積極的に評価した部分がある。堯恕法親王の亡くなられたのは元禄八年（一六九五）であり、それは売茶翁が、煎茶を売る風流の翁として活躍する頃よりも、およそ四十年以前にさかのぼる。

話は少し飛ぶが、のち秋成は、妙法院宮真仁法親王の主催する風雅のサロンに出入するようになるのだが、そこに集まった文人雅人、たとえば皆川淇園・六如上人・村瀬林亭・梅辻春樵・小沢声庵・伴蒿蹊・円山応挙・僧月僊・松村呉春などなど、このそうそうたるメンバーのうち、まだ幾人かは煎茶に深いかわりを持つていた。「茶の文化史」等

真仁法親王という人については、若くして亡くなられたということもあって、つい触れることを忘れ勝ったのだが、どうも堯恕法親王以来（？）世間とは少し異なる風雅の道を求める人々のつながりが、この妙法院を中心にあつたのではないかという気がするのである。

近衛忠熙と小川可進との関係については、以然宮内庁書陵部に納められた「茶会記」でその具体的な姿を見たのだが、それ以前の近衛家と煎茶とのか、わりや、またさらにはさかのぼって、後水尾天皇と煎茶とのか、わり、そして平安朝以来の堂上家の喫茶趣味のあり様とその変遷などについて、調べたいことは山ほどあるのだが、学者ならぬ身でもあり、これだけに没頭するわけにもゆかず、多忙中で妙法院や陽明文庫にも、是非近いうちに訪ねてと、気はあせるばかりの毎日を送っている。

季刊
第13号
京都古書研究会
発行
〒604 京都市中京区上角上同内
京都市角上角上同内
京都府古書籍商組合
振替 京都221032円
年間購読料(送料込)
頒価 150円

古書のご整理は 京都古書研究会加盟店

- 赤尾照文堂 中京区河原町通六丁目一五八八 電話二一五八八
- 石川古本 左京区一乗寺里の駒谷の12 電話七一五七〇
- 井上書店 左京区田中町一〇一 電話七八一三三三
- キクオ書店 中京区河原町通三栄上ル 電話二二一七三三
- 其田書店 中京区寺町通三栄上ル 電話二二一九七一
- 沢田書店 上京区民九通今出川上ル 電話四五〇五〇
- 三密堂書店 下京区寺町通弘光寺 電話三五一九六六
- 出町と衣笠善書堂 衣笠店 電話四六一三三七
- 大岡書店 中京区寺町通小路上ル 電話二一〇六八五
- 竹岡書店 左京区銀閣寺六丁目四四五四 電話七六一四四五
- 谷方書店 下京区七条通東川角 電話三六一一七九
- 東山書店 北区小山下内河原町63 電話二〇一三〇七
- 外山書店 左京区北白川久保町64の5 電話二〇一六二七
- 萩屋書店 上京区丹波町通三栄上ル 電話二二二二二
- 福田屋書店 左京区田中町通三栄上ル 電話二二二二二
- 藤井文政堂 下京区寺町通三栄上ル 電話二二二二二
- 藤原北御所書房 上京区今出川通三栄上ル 電話二二二二二
- 文苑書店 中京区寺町通三栄上ル 電話二二二二二
- 文藻堂 中京区新通三栄上ル 電話二二二二二
- 八木書店古書部 中京区九条町通三栄上ル 電話二二二二二
- 山崎書店 京都市山科区大宅五反田町3 電話五一四九九
- 臨川書店大阪店 大阪府北区交野町一丁目一三二 電話二〇三三三

古書研勉強会

「京の書物今昔展」のご報告

— 京のガイドブックの変遷史 —

去る六月二十七・八・九日の三日間、京都市社会教育総合センターで開催いたしました展示会ならびに即売会のご報告をいたします。この展示即売会は京都市社会教育総合センター・京都市中央図書館の開設を記念して開催したものです。「京のガイドブック」の変遷をたどって、京都の歴史と出版文化の歴史を通過しようというところみでしたが、この企画は社会教育的な意義に富むものであるとして、京都市教育委員会ならびに京都市社会教育振興財団よりご後援をいただきました。また京都市中央図書館からは貴重書を多数提供していただき、内容をより充実させることが出来ました。なお展示品の大部分は当地の先輩ご同業の方々から拝借したのですが、若輩非力の集団である古書研のもとめに、快よく差しおられましたご支援とご指導には、どれだけ勇気づけられたかわかりません。このささやかな企てに寄せられた公私のご好意に、あらためて厚くお礼申し上げます。

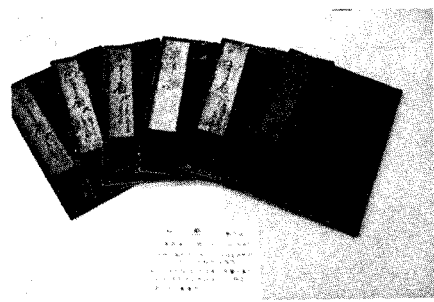
さて、短時間のうちに準備をすすめなければならなかった関係で、皆様へのご案内が不十分となり申し訳ございません。特に遠隔地の皆様には失礼いたしました。展示品についても目録を事前で作成お配りしなかったのですがそれも出来ず、ご来場の多数の方からお叱りをうけました。会終了後ようやく目録をとることが出来ましたので、ここに主なものを掲載し、併せて時代的背景を述べて参考に供したいと思えます。



即売会も好評であつて、会員一同次会への意欲を燃やしております。

時代の流れ……

京のガイドブックの変遷をたどることで京の歴史と出版の歴史を通過しようとするところのみは、同時に日本の政治・経済・文化の流れをたどることになります。近世の初期慶長年間にはじめて営利出版業がおこり、寛永・寛文を通じて元禄時代に入ると、出版ブームともいうべき様相が出現します。六〇〇年代から・七〇〇年代初めにかけての約百年間です。慶長・元和の動乱期を経て江戸幕府の權威が安定し、世の中がようやく落ち着いて生産力もつき、町人階級の経済力が着実に上昇して行く、平和で活気にあふれた時期です。出版業者が慶長時代に出現したとい



うことは、それまで寺社と一部知識階級の需めに応じて刊行されてきた書物が、出版業者自らの企画によつて主体的に刊行されるようになったというところで、当然不特定多数の需要が発生したことを物語ります。しかし寛永頃までの主流は、仏書と儒書でした。京のガイドブック(名所記)が最初に現われるには明暦四年(一六五八年)「京童」六巻をまたねばなりません。元禄の出版ブームの五十年前、出版業者出現の五十年後のことです。これより少し前、寛永時代から出版業者も増え、主流の「物の本」(儒仏書)に加えて浄瑠璃本・俳諧書・仮名草子等々趣味的・文芸的・娯楽的色彩の濃い、町人好みの本が出版されるようになりま

す。政治的安定と経済力の向上は、町人の心にゆとりを与え、ゆとりは知的的好奇心と精神の冒険を助成します。出版の興隆も旅心も共に知的好奇心に根ざすものであり、名所記の出現は必然的であつたと考えられます。旅が実用のもから「観光旅行」へと広く一般に普及して行くためには、交通が安全で、物価も全国ほぼ同一水準でなければなりません。つまり、各地方とも安定した状態であるということが必要です。

名所記の初期の代表作は次の三点で、以後これらのスタイルのヴァリエーションが意匠をかえ、内容をかえて数多く刊行されていきます。

- 京童 六巻六冊 中川喜雲著 明暦四年刊(文学的)
- 京雀 七巻七冊 浅井了意著 寛文五年刊(実用的)
- 京羽二重 六巻六冊 水雲堂孤松子著 貞享二年刊(趣味実用)

次に、京都が何故観光旅行の目的地となり得たかを考えてみます。単に歴史が古く主城の府であり、貴族文化・宗教文化の中心である、というだけでは不十分でしょう。京都は古くから既に観光都市でしたが、更に強くそのイメージを定着させるのは、江戸も中期から後期にかけてのことです。その原因

は、幕府の宗教政策に依るところ大であると思われま。江戸期の人々にとって「旅」は実ほそれ程容易なものではありませんでした。第一に「旅」の許可を得ることが難かかったのです。しかし「社寺参詣」は例外的に規制がゆるやかでした。本末制度による寺院統制の結果、本山の多数集中している京都は「社寺参詣」を理由としこの格好の観光地でした。又元禄頃から富裕層や未寺からの本山への寄進も多く、各本山の遠忌行事も盛となり、寺院の増改築も活発に行なわれるようになります。寛政期には平安京遷都一千年という歴史の古さが改めて認識され、古都としてのイメージが完全に定着します。第一級の観光都市の条件は、史蹟に富み、宗教的權威の中心であり、絶えず優れた文化を産み出し、生産と消費の量も大きく質も高い、ということではないでしょうか。ローマ・パリ・そして京都はこの条件をよく満たしているゆえに、世界有数の観光地たりえているように思われます。

京都のガイドブックは、これらの要因と社会制度を背景に、一枚刷の寺社絵図から地名早引・買物案内・遊廊の細見ものと、数多く刊行されつづけます。

特記すべきは安永九年（一七八〇年）に刊行された「都名所図絵」でしょう。拾遺其十卷十一册天明七年（一七八九年）に完成されて



います。京都における最初の名所図会で京都の百科事典ともいえるべき性格をもったものでも。文よく絵よく実地検証によった細部にわたる記述は、以後各種の名所図会の刊行を誘発しています。

幕末から明治にいたる大混乱期の後、東京遷都は京都にとって未曾有の大事件でした。市街の四割は焼失し、天皇を中心とした公家武家・有力町人は東京へ移り、人口は明治五・六年頃にはかつてのほぼ半数に減ってしまいました。このみ生きのびるかに見えました。この危機に対して京都は文明開化の最新の技術を導入することで、全国に先がけた近代都市としてよみがえります。琵琶湖疏水開削による発電と路面電車、そして水道の整備がそれです。京都の三大事業として今も讃えられているもので



この頃銅版、石版の印刷技術もたらされ、印刷の形態は一変します。細部にわたる陰影が表現出来る上に小さな字が可能となって、木版印刷を駆逐し、本は小形化しかつ内容量の多いものに変って行きます。今日の書籍の形が完成します。しかしこれら銅石版印刷は新しい活版と写真にすぐとって換わられてしまいました。この時期は短く、明治初期から精々三十年代後半までで、文明開化の産物として、短命であったがゆえにかえって愛着をもたれています。特に地図や挿絵によく利用されました。大正から昭和にかけて両面刷のイラストマップ様のものが数多く刊行されます。吉田部三郎画くとこ

ろのパノラマ図（鳥瞰図）は、鮮明な色分けによる見やすい図柄が評判となり、一世を風靡します。戦争の色濃くなる昭和の十年代以降は、もはや観光旅行も望めなくなり、極端な耐乏生活を強いられます。終戦直後に刊行された京都市街地図の裏面には、簡単な英会話が附されています。進駐軍の兵士が「キオト」にやってきました。便に供するのがガイドブックの使命なのです。兵士達は帰国し「キオト」の名は世界中に一層広まります。戦後の貧困をのりこえ、高度成長をはたした日本は、あたかも慶長・元和の戦役のあとをうけた、寛永元禄の如き泰平の時代をむかえ、今や一億総観光のおもむきがあります。あの時代よりは自由、あの時代よりは豊かに、あの時代よりは速かに旅を楽しめます。そして京のガイドブックは、週刊誌の特集号からイラストマップ、単行本からシリーズ、全集にいたる迄、それこそ数限りなく出版されています。

次頁に展示品のごく一部をご紹介します。書誌的には全く不備な目録ですが、展示品の一端を想像いただければ幸いです。この他寺社刊行の刷物、肉筆、市誌・郡誌・写真帖・絵ハガキ等含めて全体で約四百点程展示いたしました。

思わぬ出費！

その様な時、御利用下さい。

・出町店・京都市上京区河原町今出川上る
☎231-7711番

・衣笠店・北区西大路通り平野神社北隣
☎462-3371番

ZENSHOD
本専門の質屋
善書堂

（臨川書店 久保田記）

京の書物今昔展出品目録抄

— 京のガイドブック変遷史 —

江戸時代

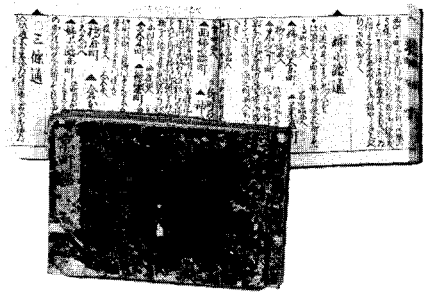
- 奈良絵巻 京乃四季名所 名所を詠つたもの 江戸初期一巻
- 京名所案内(仮題) 丹色筆彩 江戸初期刊 一冊
- 京童 六巻 中川喜雲 明暦四年 京都最初の名所記 六冊
- 京雀 浅井了意 寛文五年 京童の欠を補うもの 京町鑑としての機能をもち類書の先駆的存在 商工諸職絵入 七冊
- 薩州府志 黒川道祐 貞享三年 総合的京地誌の最初 十冊
- 花洛名所記 正本屋吉兵衛板 元禄七年 一冊
- 京独案内手引集 元禄七年 一冊
- 宝永花洛細見図 金屋平右衛門 元禄十七年序 十五冊
- 諷刺京独案内記 田中仲兵衛板 一冊
- 句集佐百合葉 百合女(玉蘭の母)享保十二年 一冊
- 京城勝覧 貝原益軒 一巻 宝永三年 一冊
- 一目千軒 斜天・吞獅 宝暦七年 島原遊廓評判記 一冊
- 山鉾由來記 宝暦七年 祇園会の記録として価値高い 三枚
- 京町鑑 白露 宝暦十二年 京市街研究必須文献 二冊
- 平安風雅 芦門岡崎信好輯 天明六年 一冊
- 都名所図会・拾遺 秋里離島・春潮斎画 安永九年・天明七年 名所図会の決定版 読物としても好適 十一冊
- 都名所図会 板木 三枚
- 都林泉名所図会 五巻 秋里離島 寛政十一年 一冊
- 山城名所題戯歌 十叟舎板 天保七年 一冊
- 都繁昌記(漢文)因果道土 天保八年 単俗を述べる 一冊
- 商人買物独案内 天保二年・嘉永四年 二冊
- 鶴のはやし 堪然 安政四年序 泊 一冊
- 都のにぎわい(四条橋新造之記)祇園氏子同志 安政四年 一冊
- 花洛名所図会(東山之部)木村明啓・川喜多真彦撰 八冊
- 文久二年六編のうち東山之部のみ刊行 江戸末期の名著

明治・大正・昭和(終戦直後まで)

- 銅版絵張込帖「名所諸景一覽(仮題)」石田有年刻 一帖
- 銅版京都名所案内図会 明治十三年 一冊
- 新京極道のしおり 久下嘉時 明治十六年 一冊
- 江崎都の魁 銅版絵入 石田有年編 明治十六年 一冊
- 銅版三府名所独案内 京都之部 明治十六年 一冊
- 歐文京都明細地図 正宝堂刊 明治十九年 ポケット版 一冊
- 京都名所案内図会 銅版 石田旭山編 明治二十年 二冊
- 京都案内都百種 辻本治三郎 明治二十七年 一冊
- 平安通志 京都市参事會 明治二十八年 二十冊
- 都名所二十五景 森川曾文画 明治二十八年 一冊
- 京都温故誌 上村長一 明治二十八年 一冊
- 鉄道唱歌 大和田建樹 明治三十三年 一冊
- 鳥戸山鳥部野延仁寺地考 明治三十四年 一冊
- 京都誌要 山本顕造 明治三十九年 一冊
- 大日本名所図会 京都名所の部 明治四十二年 一冊
- 京都大観 明治四十二年 一冊
- 平安年中行事 笠原鴨渥・斎藤静花 明治四十三年 一冊
- 嵯峨名勝 小林吉明 明治四十三年 一冊
- 畿内見物 京都之巻 金尾文淵堂 明治四十四年 一冊
- 京都祇園会図録 木版絵入 明治四十五年 一冊
- 京都叢書 京都叢書刊行会 大正三十四年 一冊
- 京都に関する地誌名所記の集大成・翻刻活字本 十六冊
- 京都名勝と画家 新田紫水 大正四年 一冊
- 修学旅行京都市蹟案内 西田直二郎他 大正九年 一冊
- 詩仙堂記 石川瑞達 大正十年 一冊
- 遊園一日がけと泊りがけ 三宅莊藏 大正十年 一冊
- 美術行脚古事めぐり 斎藤隆三 大正十年 一冊
- お寺まいり 鉄道省 大正十一年 一冊
- 京都近郊近畿古美術御案内 同校友会 大正十一年 一冊
- 日本史蹟(一) 京都市之部 仏教芸術院 大正十三年 一冊
- 洛西景勝記 小林吉明 大正十四年 一冊
- 歴代御陵巡拝の榮 帯谷伝三郎 大正十四年 一冊
- 京島原角屋(七版) 中川徳右衛門 大正十四年 一冊
- 鉄道旅行案内 鉄道省 大正十五年版 一冊
- 吉田初三郎画 京都名所鳥瞰図多数 大正後期・昭和初期 一冊
- 京都行脚 川勝政太郎 昭和五年 一冊
- 御所八幡宮御由来 同社務所 昭和七年 一冊
- 嵯峨誌 嵯峨自治会 昭和七年 一冊
- 京名所案内記 市観光課 昭和八年 一冊
- 皇陵巡拝案内記 皇陵巡拝会 昭和八年 一冊
- 都おどり 岩井徳三郎 昭和八年 一冊

絵 図

- 京都名勝 市観光課 昭和八年 一冊
- 京都史蹟めぐり 寺井史郎 昭和九年 一冊
- 賀茂祭と臨時祭 山雲寺通次郎 昭和十二年 一冊
- 都名所図会索引(稿本) 久保翠山 昭和十五年 一冊
- 京乃桜 京都市観光課 昭和十五年 一冊
- 維新の史蹟 大阪毎日新聞社京都支局 昭和十七年 一冊
- 八瀬大原 無竹庵 昭和十七年 一冊
- 内裏図 平野屋茂兵衛板 寛永五年原図慶応三年改板 一枚
- 鳴原細見之図 正徳六年 一枚
- 加茂葵御祭之絵図 萬屋二右衛門板 明和七年 一枚
- めがね絵京名所 応亭 宝暦年間 一枚
- 加茂祭礼図会 寛政六年 一枚
- 京都名所方角 玉稚堂 一枚
- 錦絵 都百景 石和版 幕末 七十八枚
- スモリツク原画石版名所絵 明治二十年代(珍品) 六枚
- 竹久夢二スケッチ(肉筆) 五枚
- 肉筆画帖 京とところどころ 加藤頼泉筆 小折本 一帖
- アメリカ空軍戦略地図 京都爆撃の目標を朱線で 一冊
- 困ったものと云われている 一冊
- 京都観光案内図 昭和二十一年 裏面に英会話付 一冊
- その他・写真・絵ハガキ・小冊子・単行本等多数。



近世京都の本屋

(九)

宗政五十緒

十二 吉田四郎右衛門・三郎兵衛

和歌や物語という日本の古典文学を出版して世に知られていた書林に吉田四郎右衛門がある。この店は、はじめ榎木町通り(堺町西入町力)のち、二条通り麩屋町西へ入町(富小路東へ入町)で営業していた。吉田の名は寛永期の出版物の版元にその名が見えず、また万治版の『書籍目録』収録の図書の記事にも見つけることが出来ない。思うに、寛文頃に業を始めた本屋であろう。吉田は外物に三郎兵衛という店があり、出版物の傾向が四郎右衛門の店に似ており、どちらかというところ、それよりも通俗性をもっている。普通に考えるとその通称から三郎兵衛家は四郎右衛門家の分家であろう。また、『興正集』という書を吉田五郎兵衛が出版している。これも四郎右衛門家の分家と思われる。しかし、以上の三家の関係はよくはわからない。

吉田四郎右衛門は近世前期から幕末明治まで続いた本屋である。歌書・物語書・有職書の刊記にこ

の店の名をしばしば発見する。国文学研究者にとってはなじみのある本屋といつてよい。この家は代通称を四郎右衛門といい、寛政頃の主人は名を元長といつて、小沢芦庵の門人で歌をよみ、芦庵の家集『六帖詠草』をこの店から出版したのも、その縁であると思われる。

元禄九年版の『書籍目録大全』によつて、これに「吉田」・「吉田四良」・「吉田三良」・「吉田五良」という書店名の記載のある書を別表に載せておこう。
(板元名の下に*印のあるものは相合書店のあることを示す。値段は銀目。ただし、金の場合はその旨()を付して掲げる。金二枚というのは大判(十両)二枚のことである。)

この『書籍目録』には他に「図類」と「好色本」という分類があるけれども、この両者には吉田の出版物は見られない。別表から知られるように、吉田の出版書は――
(1) 仮名書を中心としている。そし

て、その中核となつてゐるのは歌書である。「二十一代集」(小本)、『源氏物語』(小本)は相合板だが、この店のベースになつた出版物と見てよいであろう。

(2) 儒書の部に載せられるものには公家方の有職書が目立っている。この店は上京に位置しているから、思うに、公家方の学芸に支えられた本屋であつたことを示している。この点、出雲寺和泉様の店と通じるところがある。

(3) 『五経』の林道春点や『古文真宝』の大字本などの版行書をもつ点も、漢字の出版物を刊行していた出雲寺家と類似する営業内容を示している。なお、吉田四郎右衛門は江戸中頃に禁裏御書物所ともなつてゐる。これは桜町天皇の時代である。この禁裏御書物所であつた点も出雲寺家に通じる。

(4) 『柏玉集』というのは後柏原院の御集で、この集は三条西実隆の『雪玉集』、冷泉政為の『碧玉集』とあわせて三玉集と称されて、近世の堂上歌人にとつて必読の歌集であつた。一人三臣和歌」といふのは、後柏原院と実隆・政為、および、冷泉為広の歌をあつめたもの。この書は、『目録』に載るが実は刊本はない。『目録』刊行の時期には近刊予告であるらしく、値段も付いていない。だから、この『目録』に載つてゐる書はすべて刊行さ

『増補書籍目録大全』(元禄九年版)収録

吉田四郎右衛門・三郎兵衛・五郎兵衛板行書目

書名	著者名	値段	冊数	板元名
嘉吉軍記	赤松則祐	一匁五分	一	吉田
源氏物語小本	定家卿	三十匁三〇	吉田*	
新勅撰集	定家卿	五匁	四	吉田
千五百番歌合		十八匁	一〇	吉田
二十一代集		二百十匁	五	吉田*
つれ／＼草金槌	浅香山井	二十五匁	二〇	吉田*
本朝女鑑	松雲了意	七匁	一〇	吉田*
名所都鳥		八匁	八	吉田*
明題和歌集	今川了俊	十匁五分	一五	吉田*
幽齋道之記		一匁三分	一	吉田
六家集		二十七匁	一八	吉田*
類字大名寄	細川玄旨	十五匁	八	吉田
和歌指摘抄并若宮歌合	定家	(なし)	二	吉田
和歌拾題抄		十五匁	一五	吉田*
一人三臣和歌		(なし)	一	吉田四郎
基本因坊		五匁	二	吉田四郎
二十一代集		百三十五匁	四六	吉田四郎
二八明題集	今川了俊	(金)二枚	二二	吉田四郎*
柏玉集 後柏原院御集		十一匁	一五	吉田四郎右*
養風		十二匁	一〇	吉田四郎
義経記		九分	一	吉田四郎
源氏物語絵入		六匁	(なし)	吉田三*
十夜縁起		五匁	三	吉田三郎
鳴のはねがき		六匁	一	吉田三郎
世諺問答		三匁五分	三	吉田三郎
千代のひいなかた		二匁五分	三	吉田三郎
百人一首寸珍箱入		三匁二分	二	吉田三郎*
都風俗か、み		八分	一	吉田三郎
和歌道しるべ		二匁	四	吉田三郎
和歌道しるべ増補	飛鳥井栄雅	二匁	一	吉田三郎
		七匁	四	吉田三郎

(二) 儒書(イ) 有職・歴史類

禁秘抄 元々集	順徳院 親房	二匁三分 十五匁	三 八	吉田 吉田
江家次第 三世相鈔	安田昌庵 西道智	三十五匁 十五匁	一九 一三	吉田* 吉田
太平記大全 令義解	清原夏野 黒川道祐	百二十匁 十五匁	五〇 一〇	吉田* 吉田*
維州府志 日本書記釈 公家要覽	卜部兼方	二十五匁 二匁	一〇 一	吉田四郎* 吉田三郎

(ロ) 儒学・漢文学

高郎山詩集 後漢書	范曄	一匁五分 百六十匁	六 六	吉田 吉田*
五経 道春点 古文後集 大字	熊谷了庵	十五匁 三匁五分	一 二〇	吉田* 吉田*
三体詩備考 村庵詩集	明甫	二十匁 (なし)	二〇 一	吉田 吉田
明道録講 名勝詩集		八匁 四匁	八 四	吉田 吉田
濂洛風雅 漢楚車談		五匁五分 二十五匁	二〇 二〇	吉田 吉田*
三体詩詳説 周易図	宇都宮出的	(なし) 一匁五分	なし 一	吉田四郎* 吉田四郎
莊子抄	松水昌三	十二匁	一〇	吉田三郎

(三) 仏書

往生要集記 選撰集直談	良忠述	六匁 八匁五分	一〇 一〇	吉田 吉田
長明発心集 仮名 役氏二字義		六匁 九分	八 一	吉田 吉田
楞嚴経円通 頌文雜句		二十五匁 十三匁	一三 二〇	吉田四郎 吉田四郎
興止集			二	吉田五郎

(四) 医書

針灸大全 本草綱目経疏 養生月覽 医学源理 本草綱目 医学随筆 サスノミコ	神農 道三 石山活機	五匁 二二三匁 八分 二十匁 六十匁 一匁 三分	五 一 一 二 四 一	吉田 吉田 吉田 吉田四郎右 吉田四郎 吉田三郎 吉田三郎
---	------------------	--	----------------------------	---

(五) 石摺

東坡醉翁亭	(なし)	三	吉田
-------	------	---	----

れたと考へてはならないことをこの一書は我々に教えてくれる。(5)三郎兵衛店が刊行した『都風俗鑑』四冊は今日の文学史では仮名草子に分類されている。延宝九年の刊行で、当時の京都の女性の風俗を叙述している。その中には遊女もあり、市中の女もあり、下級の売色の女たちもある。その刊行は西鶴の好色本刊行の直前の時期であつて、西鶴本との関係が考えられる珍らしい風俗書である。ただし、この本の原本で今日に伝わるのを知らない。稀書複製合本でその面影をしのぶことができる。風俗を描いたさし画が十二葉ある。次に巻四の「茶屋女の風俗」の章を少し掲げておこう。

茶屋の風俗、又、一段かはりものなり。何時の頃より云ひ初めけるにや、人をあしらふ女をお山と云ふ也。されば茶屋柄(づか)

を握りて、これを極意なりと思ふ男は、山州(やましう)と云ひ、色など云ふて嬉しがるなり。此女、豊さはりぼつとりとはゆかず、風呂屋・端傾城(はしげいせい)には又、抜群劣りたり。是より下品はあまり有るまじ。今はどこから云ひはやらかしたるにや、客は振袖につくと云ひて、我も我もと振袖を置く也。それ故、三十余り、四十に傾く齡にても振袖を着せられ、さながら鶉(うづら)の尾抜けたる如くなるもあり。多くは和泉・河内・津国堺の者、大坂谷町・藤の棚なんどの辺に居て、惣嫁(さうか)などしたるもあり。さて、盃をば出しぬれど、酒の諸分さらにつまらず、ぶつつりとも小歌などは、けもなき事なり。あひに有るは麒麟(きりん)の一角なり。尤も代物下直なれば、かくあるべき事とは云ひながら、そのふつつかなる風俗を云はば、酒二、

二度に巡れば、彼女、勝手へ立ちて茶を取て来るなり。何のいらへもなく屏風引き廻して、自ら内に入り、帯解き、ふためきて、「おやすみなされませひ」と云ふ有様、雨を催す雲の如く、いとあはたし。何とぞかかる座配にはわけもあるべき事なれども、ただ客の数を好む故、とかく座配の興をばたどらず。其の諸分を思へば電光の如し。先づ、其の様を云はば、木綿の振袖にぬめ綸子の帯、粉(ふん)だめの差し櫛、大やう是なり。……

(色茶屋には今は、客は振袖の年若い女を好くからというので、どの茶屋も振袖を置いていたが、その女たちの年齢は三十余り、四十歳のはげちよろも居る。多くは泉州や河内・摂津の地から流れ込んだ女たちで、その中には大坂で夜鷹をやっていたものも居る。座敷の酒のサービスもそこそこにして、ベッド・インを急がせ、それも極めてショートタイム。これは客の数をこなさねばならぬからである。その有様は木綿の振袖、ぬめりんずの帯、差し櫛はふんだめ。……)

このような風俗書は吉田の出版物としては珍らしい。この店としては異色のものであった。

(龍谷大学教授・文学博士)

私の蔵書④

酒の文献蒐集家

増田徳兵衛氏を訪ねて

酒どころ伏見。鴨川にそって大阪へと続く旧街道に三百余年來の造り酒屋がある。月の桂 に「酒」の醸造元といえは左党なら先刻ご存知のはず。その当主増田徳兵衛氏は酒に関する文献蒐集家としても知られたご仁。

あじさいの花咲く梅雨の晴れ間 辛党、甘党連れ立ちお訪ねしての酒談議。そして氏の近代文学書蒐集にまで話がはずみました。

——相当古い酒造家と聞いていますか……

増田 延宝三年（一六七五年）創業ですからもう三百余年余り酒造りをしてきました。私で十三代目です。

——酒に関する文献ほどの程度集められたのですか？

増田 刊本はほとんど集めましたでしょうか。他に筆写本や酒を詠んだ和歌、俳句、狂歌の本。花見や宴席など酒に関する浮世絵。これは二百枚ほどになるでしょう。それに酒番附、チラシ、広告、酒のレッテルなどもあります。

——お集めの中でとくに珍しいものはどんなものですか。

増田 亀田鵬齋の「酒佛妙楽経」。

谷文兆の絵が一枚入った珍しいものです。また「米汁咕嚕」や「花洛酒名鑑」なども最近ではほとんど手に入らぬものです。珍しいというものではありませんが、式亭三馬「当世七癖上戸」は江戸時代に流行りだした居酒屋の風景などよく描かれた文献です（図参照）。

——ここに見える看板の「大極上中汲にぎり酒」というのは現在「月の桂」にも使われていますね。

増田 厳冬期、もろみが十分に醸酵して熟成したときその桶の中ほどから汲みだしたもので、普通の清酒とは違った格別の風味がありますよ。

（聞き手が左党なものでつい酒の話に夢中になる。同行の甘党の赤尾氏が軌道修正）

赤尾 古い酒家では造酒の秘伝書とか研究書といったものはそれぞれ所蔵しておられるのでしょうか。

増田 秘伝書はともあれ、古い製造簿の類は、みな桶の日ばりに使ってしまうので、どの酒造家も古い製造簿といったものを殆んど残しておりません。資料の貴重さよ

り酒漏れを防ぐ方が大事やったわけですか。

——こうなると増田さんの資料がいよいよ貴重になりますね。でも入手できずに残念だったこともおありでしょう。

増田 ありますよ。東京の目録で白酒を造っている三枚続きの版圖を見つけたのですが、値が高いという忠告があつてやめました。しかし今となってはほしいですね。また淀川下りの過書船（三十石船）を描いた卷子本も入手しませんでした。ほしいと思つた時に少々高くとも手に入れることが蒐集の秘訣ですよ。

とくに本は骨董とちがつて偽物がなくて、すから目録でも思いきって買うことが出来ます。

——ところで増田さんは酒の文献と共に近代文学の方面でも貴重なものを多くさんお持ちだそうですね。

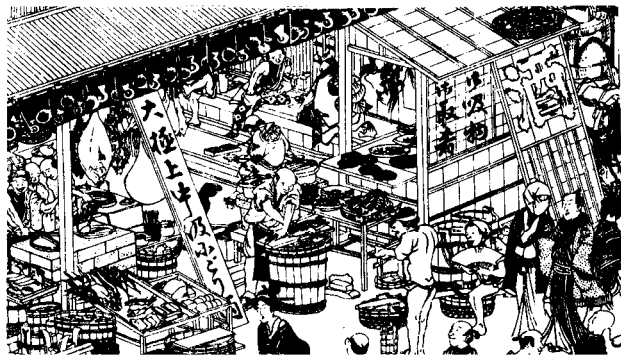
増田 まず荷風のものにはほとんど初版です。もつています。「腕くらべ」の

私家版（五十部限）には二種類あつて普通通知られていないのは、絞りの表紙の方ですが、赤と黄色の縦縞表紙の私家版はご存知ないでしょうか。また名前は消してありますが、先

生」と献辞があり、恐らく

私家版（五十部限）には二種類あつて普通通知られていないのは、絞りの表紙の方ですが、赤と黄色の縦縞表紙の私家版はご存知ないでしょうか。また名前は消してありますが、先

生」と献辞があり、恐らく



(上) 式亭三馬「当世七癖上戸」(文化七年)より

(右) 増田氏を荷風に紹介した谷崎潤一郎氏の手紙……



柳村上田敏先生の献呈本でしょう。荷風は鴨外と上田敏のみ先生と呼びましたから。他に斎藤昌三氏蔵の「フランス物語」の初版本や、墨東綺譚の私家本があります。また荷風筆の漢詩もあります。ところが荷風の直筆は偽物が多いと谷崎先生が仰言るので、谷崎先生の御紹介状を頂いて永井先生をお訪ねしました。会えば実にきさくな紳士でした。そしてすべて真筆だと仰言つて下さいました。この時の紹介状が神田の古本屋に出ているのをちと高かったけれど買いました（写真参照）。

——谷崎さんの原稿もお持ちとか。
増田 それは「春琴抄」の佐助が目と突くところの書き損じの原稿ですが、今お見え出来ないのが残念です。

——里見淳の初版にはすべて署名が入っていますね。
増田 里見先生とは御懇意にして頂いていて簡単に御署名を頂きました。谷崎先生のものにも御署名を頂いています。

——こうした蒐集は先代より受け継がれ戦前から始めているおられるとの事ですが、長い眼で見られて古本屋の変り方はいかがですか。
増田 最近ほゆゆと語り話が出来来る古本屋が無くなりました。先生代の竹苞楼さんのところでは座りこんで変体仮名のわからぬところなんかに「これ日本語でっせ」と笑われながら読み方を教わったもので

す。
——私達の店も古書サロンにならんとはいけませんね。

座敷をよぎる鴨川の川風に話はずきずとくに集められた文献による酒の考証は左党ならずとも興味津々。誌上再録の余裕がありませんでそれは氏の論文におゆず

りするとしてここに紹介しておきます。

○お酒の神々(読売新聞「日本の酒」昭和五〇年)

○地酒と名酒(「の科学」No.36昭和五二年)

○居酒屋考(川柳に追う江戸期酒風俗史(月刊食堂別冊「居酒屋」昭和五四年)

○お酒の爛(歴史と地理)二八五号昭和五四年)

——どらねこ工房より——

大きな活字本について

弘英正(どらねこ工房代表
戦前の本はみんな字が大きかった

東に比べ10年ぐらゐ遅れていて、マニアの人達にも、一つ物足りなさを感じさせている。原因の一つは、マンガを扱かう業者が少ないう事と、古い郁の閉鎖的な考えによるものかも知れない。

戦後、我々の生活の中でマンガは無くてはならない娯楽の一つで

マンガの話

石川古本店

石川 栄基

が本だけで生活をするのは大変なことである。どんな本にも出来る事は、珍らしい本は、右から左へ売れるのだが白っぽい本は、いつまでも残ってしまふ。この問題はどうの業者も頭が痛い所であろう。

現在、京都のマンガ店は閑

冒険王とか、少年とか、親から貰った少ない小使いをため、心を弾ませ本屋さんへ買いに走つたものである。特にフロクスのポリウムのあること、今考えるに出版社の苦勞も大変な事であつたらう。こゝう言つた本でも、現在手もとに残っているのは、わずか二冊程、

たと、年配の方はおっしゃいます。戦後三十年、字は詰めこまれる一方で、写植のつめ印字がはやつたりで、弱視者(眼疾等のため視力が0.3以上出ないもの)の読書環境は悪くなる一方でした。

これらで、マンガに對する批評は色々あるが、良い悪いとかは別で、マンガの根本は、笑いから始まつたもので、いい作品は数多く有る。マンガは「タメ」と言う人に、一度よく読んでから判断して欲しいものです。今後マンガは資料として図書館あたりでも扱う様になるであろう。それと同時に作者にも親から子まで親しめる作品を作るように心掛けてもらいたいものである。

のらくろ、凸凹黒兵衛、鉄腕アトム、ドラえもん、数え限りが無いマンガ本、読む捨てては無く、もっと、もっと大切にしましょう。ノ

た、年配の方はおっしゃいます。戦後三十年、字は詰めこまれる一方で、写植のつめ印字がはやつたりで、弱視者(眼疾等のため視力が0.3以上出ないもの)の読書環境は悪くなる一方でした。そんな中で私共(どらねこ)グループは、弱視者の読書環境を整備するために、写植24級以上で組み直した大活字本の刊行を始めました。第一作が昭和五十二年の「星の王子さま」(岩波書店)です。弱視教育現場では、大前提である市販の本の活字が小さい以上、それを読めるようにするためのルーペの使用技術向上を主流としていたため、大活字本は邪道であるとの批判を受けたりしました。手にとつてくれた生徒さんたちは読みやすいと大喜びで、この五十三年をもって大活字本元年だと言つてくれたりしたものです。

③神沢とし子「くまの子ウーフ」(ポプラ社)

④ヨゼフ・ラダ「きつねものがたり」(福音館書店)

⑤研究社「マイ・英知辞典」

①一五〇〇円・②③④一〇〇〇円
⑤二五〇〇円(全て送料込み)
右の本は古書研究会でもっております。

——くわしいお問い合わせは——
〒606京都市左京区修学院坪江町
TEL075(711)6448 316
どらねこ工房まで

秋の「古本まつり」

日程決まる

古本供養 10月31日(土)
午前(百万遍知恩寺)
青空古本市 10月31日~11月3日
(土・日・月・火祝日)の4日間(知恩寺境内参道)
前回より一層充実させるよう会員店夫々今から奮闘中。くわしい内容は次号に掲載いたします。

——おわび——

今回、本文に掲載の「京の書物今昔展」古書即売会を開催、会員皆大奮闘の余り発行が大幅に遅れました。おわび申し上げます。
次号予告
「京古本や往来」第十四号(秋号)は十月十五日発行の予定です。

(暮しの手帖社)

〒604 京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

電話(〇七五)二二二一五八八
振替 京都 三三三二六

33	近代英吉利文学論	大塚隆史	昭18	五〇〇〇
32	近英文芸批評史	矢野峰人	昭21	六〇〇〇
31	十九世紀の小説	海老池俊治	昭31	四〇〇〇
30	十九世紀英文学	島田謙二	昭26	二六〇〇
29	中世の英文学と英語	厨川文夫	昭28	六〇〇〇
28	イギリス小説論	近藤いね子	昭27	三〇〇〇
27	英国小説研究 第六冊	篠崎書林	昭40	四〇〇〇
26	英国小説研究 第一冊	宮田明夫	昭29	四〇〇〇
25	プリーストリー英国の小説	織田正信	昭14	八五〇〇
24	英国小説史	佐治秀寿	昭2	四〇〇〇
23	ロゲン イギリス文学史	巽豊彦	昭41	四五〇〇
22	英文学風物誌	中川芳太郎	昭8	六八〇〇
21	世紀末英文学史 上下	矢野峰人	昭53	六八〇〇
20	世紀末英文学史 上下	矢野峰人	昭53	六八〇〇
19	思潮を中心とする英文学史	中川芳太郎	昭26	七五〇〇
18	英米文学辞典	斎藤勇	昭3	四〇〇〇
17	英米文学史講座 揃13冊	斎藤勇	昭27	一五〇〇〇
16	アメリカ英語の背景	斎藤勇	昭27	一五〇〇〇
15	アメリカ英語とその文体	豊田実	昭27	一五〇〇〇
14	英語の現在と過去	佐々木達	昭25	五〇〇〇
13	英語辞書発達史	林哲郎	昭7	二〇〇〇
12	英語の現在と過去	林哲郎	昭7	二〇〇〇
11	文体論の美学的基礎づけ	中島文雄	昭19	一五〇〇
10	近代英語とその文体	中島文雄	昭19	一五〇〇
9	古代中世英語初歩	中島文雄	昭19	一五〇〇
8	世界言語概説 上下	中島文雄	昭19	一五〇〇
7	市河博士還暦祝賀論文集 第一輯	市河三喜	昭21	二〇〇〇
6	市河博士還暦祝賀論文集 第二輯	市河三喜	昭21	二〇〇〇
5	岡倉先生記念論文集	市河三喜	昭31	二〇〇〇
4	福原麟太郎著全集 揃12冊	福原麟太郎	昭43	五〇〇〇
3	福原麟太郎著全集 揃12冊	福原麟太郎	昭43	五〇〇〇
2	英文学小泉八雲全集 揃7冊	小泉八雲	昭48	三〇〇〇
1	世界批評大系	筑摩書房	昭49	七〇〇〇
34	近代英文学雑考	富田彬	昭5	五八〇〇
33	現代英文学講話	小日向定次郎	昭14	二七〇〇
32	現代英文学の研究	志賀勝	昭10	四八〇〇
31	現代英国作家論	上田勤	昭37	一〇〇〇
30	現代イギリスの文学思想	竹友藻風	昭31	三〇〇〇
29	英国小品文学	竹友藻風	昭8	六八〇〇
28	新批評小説の分析と技巧	細入藤太郎	昭42	二〇〇〇
27	短評小説の分析と技巧	細入藤太郎	昭42	二〇〇〇
26	英文学に於ける浪漫主義	細入藤太郎	昭42	二〇〇〇
25	文学における象徴派の人々	細入藤太郎	昭42	二〇〇〇
24	カルパートン 文学と性的表現	金子健二	昭6	八〇〇〇
23	東洋文化西漸史	金子健二	昭18	七八〇〇
22	小泉八雲 東西文学評論	金子健二	昭18	七八〇〇
21	近代比較文学	日本における西文学の具体的な研究	昭31	三〇〇〇
20	比較文学研究(1) 漱石研究	日本における西文学の具体的な研究	昭31	三〇〇〇
19	夏目漱石述 英文学形式論	須藤信雄	昭42	一八〇〇
18	英米作家作品年表	富原芳彰	昭42	一八〇〇
17	英文学としての聖書	須藤信雄	昭42	一八〇〇
16	英文学の感覚	土居光知	昭42	一八〇〇
15	近代英文学と知性	小川和夫	昭27	五八〇〇
14	英米文学語学の旅	福田和夫	昭27	五八〇〇
13	英国世相史	金子健二	昭11	七〇〇〇
12	近代英国の諸断面	石田憲次	昭19	三〇〇〇
11	パジョット 英国の国家構造	石田憲次	昭22	三〇〇〇
10	翻訳文学発達史	吉武好孝	昭18	三〇〇〇
9	花の研究	石川林四郎	昭55	四〇〇〇
8	英国の美術及び詩に於ける風景	石川林四郎	昭55	四〇〇〇
7	現代の詩心	深瀬基寛	昭33	四八〇〇
6	英詩要説	佐藤秀夫	昭26	一五〇〇
5	近代英詩の表現	佐々木達	昭30	四四〇〇
4	ヴィクトリア朝詩歌論	矢野禾積	昭26	四四〇〇
3	イギリス浪漫派詩人	加納秀夫	昭26	四四〇〇
2	イギリス浪漫派詩集	加納秀夫	昭26	四四〇〇
1	カザミヤン 象徴主義と英詩	岡本昌夫	昭41	一三〇〇
72	悲劇と喜劇	小宮豊隆	昭22	一六〇〇
71	アメリカ文学現実主義時代	志賀勝	昭29	四六〇〇
73	アメリカ文学論	高垣松雄	昭24	二六〇〇
74	スピラー アメリカ文学の展開	吉武好孝	昭37	三〇〇〇
75	アメリカ現代作家 志賀勝	志賀勝	昭33	二四〇〇
76	アメリカ自然主義文学論	大井浩二	昭34	一五〇〇
77	トリリング 文学と精神分析	大井浩二	昭34	一五〇〇
78	シェイクスピア及聖書の英語	大塚高信	昭29	五〇〇〇
79	シェイクスピアその本質と作品	大塚高信	昭29	五〇〇〇
80	シェイクスピア序論	中西信太郎	昭23	三〇〇〇
81	シェイクスピア研究	中西信太郎	昭23	三〇〇〇
82	ラフエック ハムレット	吉田健一	昭25	一八〇〇
83	ハムレット序説	中西信太郎	昭23	三〇〇〇
84	沙翁舞台とその変遷	中西信太郎	昭23	三〇〇〇
85	ウイリアム・ブレイク研究	上田整次	昭14	三〇〇〇
86	ワーズワース	加納秀夫	昭41	一〇〇〇
87	モーロウ シェリーの生涯	加納秀夫	昭41	一〇〇〇
88	ラムの思考様式	加納秀夫	昭41	一〇〇〇
89	カーライル 英雄及び英雄崇拜	石田憲次	昭24	八〇〇〇
90	カーライル 英雄及び英雄崇拜	石田憲次	昭24	八〇〇〇
91	デイツケンズの英語	御木本隆三	昭17	二〇〇〇
92	哲人ラスキン	御木本隆三	昭17	二〇〇〇
93	人生詩人ブラウニング	御木本隆三	昭17	二〇〇〇
94	オウエンモリス	森戸辰男	昭23	三〇〇〇
95	ペーターの作品と思想	増補版	昭31	三〇〇〇
96	エリオット研究	深瀬基寛	昭43	一五〇〇
97	ラスキー エリオットの功罪	深瀬基寛	昭43	一五〇〇
98	オウエンモリス	森戸辰男	昭23	三〇〇〇
99	ハーデイ文学の研究	増補版	昭31	三〇〇〇
100	ジョイス研究	伊藤整	昭30	一五〇〇
101	ジョイス ユリシーズ 2冊	伊藤整	昭30	一五〇〇
102	ジョイス ユリシーズ 5冊	伊藤整	昭30	一五〇〇
103	バーナード・ショー真髓	伊藤整	昭30	一五〇〇
104	デル アプトン・シンクレア評伝	伊藤整	昭30	一五〇〇
105	ソロー論	東山正芳	昭7	一〇〇〇
106	ホルロウ論	大井浩二	昭7	一〇〇〇
107	メルヴィル研究	林信行	昭49	一五〇〇
108	ヘンリー・ジェイムズ研究	林信行	昭49	一五〇〇
109	フオークナー研究	高橋正雄	昭36	一五〇〇
110	トマス・グレイ研究	速川浩	昭44	一八〇〇
111	ビネロ 英米文学評伝叢書	山本修二	昭11	三〇〇〇

御注文は各書店へ

〒604 京都市中京区河原町通三条上ル
(朝日会館前)

キク才書店

電話(〇七五)二二二一七六三四

- 郷土史・誌 特集—
- 1 郷土史研究講座 全十五巻合本五冊 雄山閣 昭9 三、〇〇〇
 - 2 日本名勝地誌 博文館 十一冊揃 昭27 六、〇〇〇
 - 3 大日本地名辞書 吉田東伍 七冊揃 大11 六、〇〇〇
 - 4 全国市町村名の呼び方(北海道名のみ) 歴史図書社 二冊 昭29 三、〇〇〇
 - 5 北海道志 歴史図書社 二冊 昭48 三、〇〇〇
 - 6 室蘭市史 室蘭市役所 昭38 六、〇〇〇
 - 7 釧路市史総合年表 (市史別冊) 昭50 一、〇〇〇
 - 8 東津軽郡誌 日本郡誌史料集成 明治文献 昭49 三、〇〇〇
 - 9 紫波郡誌 日本郡誌史料集成 明治文献 昭49 四、〇〇〇
 - 10 山形県史(復刻) 四冊揃 昭48 三、〇〇〇
 - 11 山形県案内 山形協賛会 大5 三、〇〇〇
 - 12 赤湯町史 (山形県) 昭43 六、〇〇〇
 - 13 小山市史 民俗編 (栃木県) 昭53 六、〇〇〇
 - 14 伊香保 (群馬県) 二冊 昭45 七、〇〇〇
 - 15 埼玉県誌 二冊 大1 三、〇〇〇
 - 16 東京案内 東京市役所市史編纂係 二冊 明40 三、〇〇〇
 - 17 武蔵野市 三冊揃 昭28 六、〇〇〇
 - 18 東京新川の今昔 岡村岑三郎 昭38 五、〇〇〇
 - 19 かねざは物語 関 清 四冊揃 昭44 三、〇〇〇
 - 20 佐渡年代記(復刻) 二冊 昭45 三、〇〇〇
 - 21 柏崎百年史 (長野県) 昭43 七、〇〇〇
 - 22 竜丘村誌 (長野県) 昭36 三、〇〇〇
 - 23 村誌「王滝」(長野県) 昭36 三、〇〇〇
 - 24 黒川郷の歴史と民俗 付図共(長野県) 昭50 六、〇〇〇
 - 25 みすゞ(その自然と歴史)(長野県) 昭36 六、〇〇〇
 - 26 三河後風土記 秋田書店 三冊揃 昭51 七、〇〇〇
 - 27 静岡県史蹟名勝誌 大11 二、〇〇〇
 - 28 南豆風土誌(復刻)(静岡県賀茂郡) 昭48 六、〇〇〇
 - 29 西尾市史(自然・環境・原始古代)(愛知県) 昭48 七、〇〇〇
 - 30 大治町史 (愛知県海部郡) 昭54 八、〇〇〇
 - 31 羽島市史 (岐阜県) 五冊揃 昭39 三、〇〇〇
 - 32 美濃加茂市史 通史編 昭55 八、〇〇〇

- 33 神岡町史 (岐阜県) 三冊揃 昭53 二、〇〇〇
- 34 関ヶ原町史 史料編(三) 宿駅関係(岐阜県) 昭53 七、〇〇〇
- 35 徳山村誌 (岐阜県掛兼郡) 昭51 四、〇〇〇
- 36 長良川の鶴岡(復刻) 片野温 昭51 四、〇〇〇
- 37 三重県史 弘道閣 二冊 昭48 一、七〇〇
- 38 河芸郡史(復刻)(三重県) 二冊 昭44 六、〇〇〇
- 39 尾鷲市史 越中国取りの記 野崎雅明限千 昭49 六、〇〇〇
- 40 肯積泉蹟録(復刻) 全三巻 昭51 四、〇〇〇
- 41 金沢古蹟志(復刻) 全三巻 昭49 六、〇〇〇
- 42 輪島市史 資料編六 輪島漆器資料 昭51 八、〇〇〇
- 43 輪島市史 資料編六 (石川県) 昭48 五、〇〇〇
- 44 弓取郷土史 歴史図書社 昭45 二、〇〇〇
- 45 福井藩史事典 歴史図書社 昭52 六、〇〇〇
- 46 福井県郷土誌 人物編・民間伝承編 歴史図書社 昭9 二、〇〇〇
- 47 近畿名蹟全書 辰馬六郎 全十一巻 昭9 六、〇〇〇
- 48 近畿遊覧誌稿 黒川道祐 明43 五、〇〇〇
- 49 大津市史 昭17 二、〇〇〇
- 50 平安通志(復刻) 新人物往来社 昭52 六、〇〇〇
- 51 舞鶴市史 各説編 昭50 六、〇〇〇
- 52 口丹波 昭45 二、〇〇〇
- 53 奥野産生の里 船越善吉郎 昭38 三、〇〇〇
- 54 趣味の比叡山 比叡山延暦寺 昭16 三、〇〇〇
- 55 西陣年鑑 創刊号 昭31 三、〇〇〇
- 56 大阪の研究 一―五 宮本又次編 昭42 二、〇〇〇
- 57 大阪府史 一 古代編 昭53 八、〇〇〇
- 58 大阪府史蹟名勝天然記念物 五冊揃 昭49 三、〇〇〇
- 59 難波大阪 講談社 全三巻函入 昭50 三、〇〇〇
- 60 西成区史 (大阪府) 昭43 五、〇〇〇
- 61 天王寺村誌 (復刻)(大阪府) 昭51 八、〇〇〇
- 62 船場 宮本又次 昭36 七、〇〇〇
- 63 中之島誌 (大阪府) 昭49 八、〇〇〇
- 64 尼崎市史 (大阪府) 三冊揃 昭5 二、〇〇〇
- 65 和泉市史 第一・二巻(大阪府) 二冊 昭42 六、〇〇〇
- 66 兵庫県百年史 昭45 六、〇〇〇
- 67 西宮物語 大村利一 昭41 一、〇〇〇
- 68 奈良県史蹟勝地調査報告書(復刻)全七冊揃 昭52 四、〇〇〇
- 69 平城村史 (奈良県) 昭46 七、〇〇〇
- 70 葛上村史 (奈良県南葛城郡) 昭33 六、〇〇〇
- 71 大和田下村史 昭31 八、〇〇〇

- 72 和歌山史要 辻本好孝 昭27 七、〇〇〇
- 73 和州祭礼記 昭11 六、〇〇〇
- 74 紀州郷土芸術家小伝 貴志康親編 昭11 五、〇〇〇
- 75 岡山県名勝誌 三冊映入(私装本) 大4 六、〇〇〇
- 76 岡山市史(復刻) 全六巻 付図共 昭50 三、〇〇〇
- 77 阿哲郡誌(復刻)(岡山県) 二冊 昭51 二、〇〇〇
- 78 備中町史 本論(岡山県) 昭47 八、〇〇〇
- 79 新庄村史 (岡山県) 二冊 昭41 一、〇〇〇
- 80 下関市史 昭40 三、〇〇〇
- 81 津和野町史 (山口県) 二冊 昭51 六、〇〇〇
- 82 菊川町史 (山口県) 昭45 五、〇〇〇
- 83 防長人物百年史 末弘錦江 昭42 三、〇〇〇
- 84 鳥取県郷土史 増補改訂版 昭7 一、〇〇〇
- 85 鳥取県観光事典 昭43 二、〇〇〇
- 86 鳥取県観光事典 増補改訂版 昭4 二、〇〇〇
- 87 浜田市誌 (島根県) 二冊 昭48 一、〇〇〇
- 88 八幡市史(復刻)(福岡県) 昭49 七、〇〇〇
- 89 門司市史 昭49 一、〇〇〇
- 90 太宰府小史 太宰府天満宮 昭27 五、〇〇〇
- 91 佐賀市史(復刻) 二冊 昭28 八、〇〇〇
- 92 新・鳥栖市史 (佐賀県) 昭44 四、〇〇〇
- 93 鎮西町史 (佐賀県) 昭37 六、〇〇〇
- 94 島原の歴史 藩制編(長崎県) 昭47 八、〇〇〇
- 95 美津島町誌(長崎県対馬) 昭53 七、〇〇〇
- 96 同級対馬 斎藤準人 昭47 一、〇〇〇
- 97 同級対馬 上巻のみ 昭47 一、〇〇〇
- 98 薩摩半島の総合的研究(熊本公立) 退官記念 昭10 四、〇〇〇
- 99 種子島の人々 柳田桃太郎 昭50 五、〇〇〇
- 100 沖繩志 名琉球志 伊地知貞馨 五冊揃(木箱入) 昭46 八、〇〇〇
- 101 沖繩考 伊波普猷 昭17 五、〇〇〇
- 102 をなりの島の島 伊波普猷 昭13 五、〇〇〇
- 103 新編沖繩案内 島袋源一郎 昭19 三、〇〇〇

当店の『欧米古書目録』(一九八一年第二号)「民族学・日本・東洋・心理・精神分析を中心とした洋書」(一七〇円)、「紙魚の便り」(民俗・東洋を中心とした和書) (一七〇円)を発行しました。
ご希望の方は送料をそえてお申出下さい。

出町と衣笠 (株) 善書堂

出町店 〒602 上京区河原町通今出川上ル
電話(〇七五)二二二一七七一
衣笠店 〒603 北区西大路通平野神社北隣
電話(〇七五)四六二一三三七

- 1 準備時代の英国劇 木方庸助著 昭40 六〇〇〇
2 起源時代の英国劇 山本修二著 昭7 一〇〇〇〇
3 英米現代劇の動向 本間久雄著 昭9 五〇〇〇
4 醜態主義の研究 加藤武夫著 昭2 二〇〇〇
5 英国の国家構造 石田憲次著 昭7 一六〇〇〇
6 英国の恋愛と結婚風俗の研究 石田憲次著 昭8 一六〇〇〇
7 基督教の文学観 石田憲次著 昭8 一六〇〇〇
8 ジョンソン博士とその群 石田憲次著 昭8 一六〇〇〇
9 パーナード・シヨ才真髓 石田憲次著 昭8 一六〇〇〇
10 英米の日記聖書とアポクリファ 高安三郎著 昭9 三〇〇〇〇
11 東西文学比較評論 高安三郎著 昭9 三〇〇〇〇
12 失樂園の詩的形而上学 岩崎武夫著 昭8 一六〇〇〇
13 ミル失樂園研究 岩崎武夫著 昭8 一六〇〇〇
14 失樂園の詩的形而上学 岩崎武夫著 昭8 一六〇〇〇
15 ロバート・ブラウニング 曾根保譯 昭6 五〇〇〇〇
16 宗教詩人ブラウニング 曾根保譯 昭6 五〇〇〇〇
17 ブラウニング サウル 曾根保譯 昭6 五〇〇〇〇
18 ダンテ・ロゼッティの研究 小日向定次郎著 昭14 八〇〇〇〇
19 T・S・エリオット 荒川龍彦著 昭8 五〇〇〇〇
20 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
21 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
22 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
23 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
24 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
25 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
26 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
27 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
28 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
29 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
30 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
31 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
32 キーツの芸術(英文学研究別冊第二) 細江逸記著 昭11 六〇〇〇〇
33 新評註 ハムレット 浦口文治著 昭7 五〇〇〇〇

千 京都市下京区七条通堀川角 谷書店

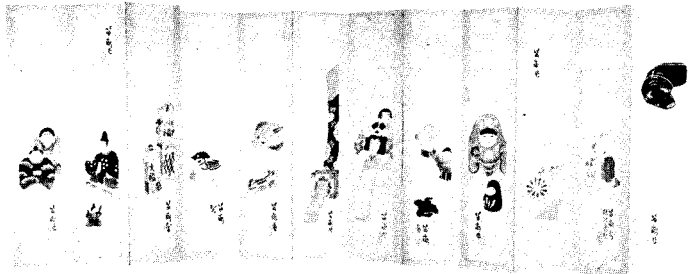
電話(〇七五)三六一七六九五
振替 京都 一一一七九九

- 1 仏教解説論 木村真澄 昭27 一、五〇〇
2 心及其表現(続仏教概論) 佐々木月樵 昭27 一、五〇〇
3 仏陀の心と凡夫の心 小泉了諦 昭7 一、〇〇〇
4 通俗三世因果実験録 本法院義讓 昭16 二、〇〇〇
5 アメリカ人の仏教 千崎如幻 昭30 一、〇〇〇
6 安妻還源親説書 上田照彦 昭34 三、〇〇〇
7 浄土三部妙典延書 米田治衛門編 昭15 三、〇〇〇
8 浄土三部妙典延書 此村庄助 昭45 二、〇〇〇
9 標註浄土三部経 龍谷山蔵版本 昭11 一、〇〇〇
10 大無量寿経講述 吉谷覺寿 昭33 一、〇〇〇
11 大経重警偈講述 高千穂敬乘 昭2 二、〇〇〇
12 教行信證概説 梅原真隆 昭7 二、〇〇〇
13 教行信證分科 占部親順 昭2 二、〇〇〇
14 浄土和讃二首説教 東保福専寺 昭13 三、〇〇〇
15 正像末和讃問答記 足利義山 昭22 一、五〇〇
16 如來及び浄土の觀念 金子大栄 昭15 四、〇〇〇
17 歡異抄講話 金子大栄 昭21 一、〇〇〇
18 歡異抄講話 多田 昭21 一、〇〇〇
19 歡異抄講話 多田 昭21 一、〇〇〇
20 親鸞聖人の国家観 前田慧雲 昭11 二、五〇〇
21 真宗教史 序論 柏原祐淨編 昭21 二、五〇〇
22 真宗諸典法数 十林欣淨編 昭11 二、五〇〇
23 改悔文講義 香月院深励 昭15 二、五〇〇
24 婦命字訓勸誘録 渥美契華 昭9 二、五〇〇
25 タノム。タスケタマヘ考 原口針水 昭25 二、五〇〇
26 タノム。タスケタマヘ考 原口針水 昭25 二、五〇〇
27 浄土通俗瓦礫集 初編上 下 山沢智洞 昭11 二、五〇〇
28 浄土通俗瓦礫集 初編下 山沢智洞 昭11 二、五〇〇
29 信仰說話 伊藤長次郎 昭7 一、〇〇〇
30 念仏と禪 伊藤長次郎 昭7 一、〇〇〇
31 活ける信仰 西谷順馨 昭24 二、〇〇〇
32 絶対信の世界 調 円理 昭24 二、〇〇〇
33 響流篇 梅原真隆 昭16 一、〇〇〇

千 京都市左京区今出川通百万遍東入 井上書店

(京都大学前) 電話(〇七五)七八一三三三二
振替 京都 二二四九九

- 1 週刊朝日(鎮夏読物号) 昭8 一、二〇〇
2 週刊朝日(新春読物号) 昭9 一、二〇〇
3 週刊朝日(新年特別号) 昭12 一、二〇〇
4 週刊朝日(秋の大衆読物号) 昭12 一、二〇〇
5 サンデー毎日(夏季特別号) 昭8 一、〇〇〇
6 週刊朝日(自昭和20年12月、至24年5月)不揃 (二六冊) 昭8 九、〇〇〇
7 サンデー毎日(自昭和21年1月、至24年5月)不揃 三冊 五、〇〇〇
8 キネマ旬報(自昭和41年至48年)不揃 六冊 四、五〇〇
9 大正大震災大火災(写真多)大日本雄弁会講社 昭7 一、〇〇〇
10 慶応義塾七十五年史(並製)慶応義塾 昭7 一、〇〇〇
11 故山本元帥追悼号(水交社記事) 遠藤周作 箱付初版 昭18 四、〇〇〇
12 沈黙 北杜夫 箱付初版 昭41 二、四〇〇
13 酔いどれ船 北杜夫 箱付初版 昭47 二、〇〇〇
14 墨牡丹 秦恒平 カバー初版 昭49 二、〇〇〇
15 繪巻 秦恒平 初版 昭50 二、〇〇〇
16 問はずがたり 永井荷風 初版 昭21 一、〇〇〇
17 小林秀雄 内田清之助 箱付初版 昭36 一、八〇〇
18 野鳥禮讃 内田清之助 箱付初版 昭12 二、〇〇〇
19 続野鳥禮讃 内田清之助 箱付初版 昭12 二、〇〇〇
20 無憂華(一頁イタミ)九條武子 野村胡堂 箱付初版 昭3 二、〇〇〇
21 野村胡堂 文友堂書店 昭18 一、〇〇〇
22 出家良寛 小野胡堂 箱付初版 昭13 一、〇〇〇
23 大久保利通 田中惣五郎 昭16 九、〇〇〇
24 名ごりゆめ(維新前の洋装者外)今泉かみ 長崎書店 昭16 九、〇〇〇
25 人鷹の世界 森本治吉 昭19 一、〇〇〇
26 東洋芸術の諸相 長興善郎 昭19 一、〇〇〇
27 空と弁證法 山口論助 昭17 二、〇〇〇
28 娯楽と民間芸術 高口悦編 昭18 一、五〇〇
29 一葉に興へた手紙 樋口悦編 昭18 一、五〇〇
30 顔を洗ふ 中川一政 初版箱付 昭13 一、〇〇〇
31 日隆の子等 不良児教化の血縁記録 荒木善次 昭16 一、〇〇〇
32 生駒山脈 その地理と歴史を語る 立命館大学地理学同好会編 昭19 二、〇〇〇
33 教育学講座 22冊揃 学研 昭54 四、〇〇〇



(1) 西沢 笛敵 版画短冊 玩具十二ヶ月揃 ¥60,000

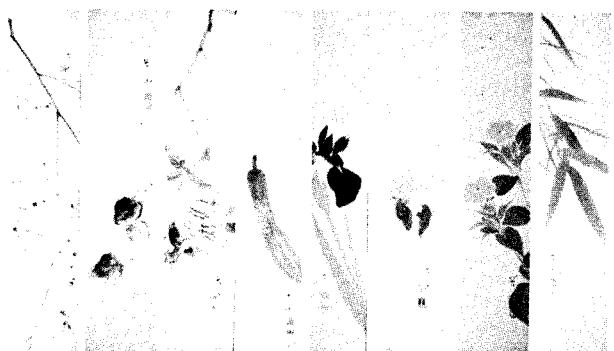


(4) 津田青風肉筆 玩具絵短冊 各一枚 ¥20,000



(7) 版 芸 術 全国郷土玩具集の内 7冊 ¥100,000

伏見・北陸・東北・台湾・武蔵・紀州・明治聖代



柿原苔山(紫峰弟)肉筆短冊 各一枚 ¥8,000

〒604 京都市中京区寺町通錦上ル
大 書 堂

電話(〇七五)二三二一〇六八五
振替 京 都 三 一 一 六 八 五



(2) 英山 美人画 軸装 七〇,〇〇〇円



(3) 幸松 春浦画 奈良の秋
一〇七×二七 九五,〇〇〇円



(5) 川崎巨泉肉筆 玩具絵短冊
一一、〇〇〇円



(6) 今村紫紅肉筆 菊 短冊
二五,〇〇〇円

千606 京都市左京区浄土寺西田町八十一四
 法律・経済・思想
竹岡書店
 電話(〇七五)七六一四四五五
 振替 京都 四二六一二

- 1 ブラウ 現代社会の官僚制 阿利莫一訳 昭44 二,〇〇〇
- 2 クレマ マルクスの人間疎外論 藤野 渉 昭47 二,五〇〇
- 3 フビヒテ 独逸国に告ぐ 河合哲雄訳 昭25 二,〇〇〇
- 4 ロゼンベルグ ヴァイマル共和国成立史 足利末男訳 昭48 三,七〇〇
- 5 カイ 危機の二十年 井上 茂訳 昭44 二,〇〇〇
- 6 ルイス 社会主義と個人 小堀引 佐藤昇 昭37 一,〇〇〇
- 7 パナール 戦争のない世界 鎮目恭夫訳 全2冊 昭36 一,五〇〇
- 8 セルワ 大衆組織の根本問題 中国研究所 昭41 三,五〇〇
- 9 ジルソン 言語学と哲学 河野六郎 昭26 一,七〇〇
- 10 マルチンカント 小堀引 昭49 三,〇〇〇
- 11 ヴェンチヤ 西洋倫理学史 龍野健次郎 昭42 一,五〇〇
- 12 シロフス アイゼンベルグ他 弁証法的唯物論教程 昭41 二,〇〇〇
- 13 ルカチチ 実存主義がマルクス主義か 城塚、生松訳 昭7 三,六〇〇
- 14 東西思想講話 小林正和 昭40 一,五〇〇
- 15 哲学新講 附東西哲学思想の発展篠原助市 昭26 二,〇〇〇
- 16 レーニンとその哲学思想(少冊) 茂森唯士 昭15 一,五〇〇
- 17 社会史と概説 芦田正喜 昭3 一,〇〇〇
- 18 ハーゲル 精神現象論 矢崎美盛 昭49 二,〇〇〇
- 19 社会史的思想史 三木、林、羽仁、本多 昭45 二,〇〇〇
- 20 戦後史の流れの中で総括 安保報道 小和田、大沢 昭45 二,五〇〇
- 21 キリスト者の実存 北森、武藤 松田 昭25 一,五〇〇
- 22 マルクスからスターリンまで 南堂康雄 昭23 一,五〇〇
- 23 ふたたびトリアツチ同志とわれわれとの意見の相違について 外文出版社 昭38 一,五〇〇

- 25 日共を中心とした左翼団体要覧 昭39 三,〇〇〇
- 26 国際共産主義勢力の現状 公安調査庁 昭37 一,五〇〇
- 27 国際共産主義勢力の現状 甲谷悦雄 昭34 二,〇〇〇
- 28 スターリン体制から「自由化」へ 昭34 二,〇〇〇
- 29 激動する世界と日本 昭47 二,五〇〇
- 30 世界と国家観 昭43 二,〇〇〇
- 31 皇道原理 日本教学 昭16 一,〇〇〇
- 32 少年建国読本 昭10 二,〇〇〇
- 33 国民小訓 昭10 二,〇〇〇
- 34 蒲生君平の山陵志(ラジオ新書) 柴田 實 昭17 一,五〇〇
- 35 共同研究賞しきからの解放 近藤康男編 昭28 一,〇〇〇
- 36 有色民族の更生 水島彦一郎 昭14 一,〇〇〇
- 37 研究評議歴史教育 昭14 一,〇〇〇
- 38 沖繩復帰の基本問題 国会図書館 昭14 一,〇〇〇
- 39 平田篤胤、高永仲基集他(大日本思想史) 昭46 四,〇〇〇
- 40 世界大思想全集 春秋社、松柏館 分売 昭8 二,〇〇〇
- 41 フーリエ 社会的主義と労働力 昭18 二,〇〇〇
- 42 ロバア マルサス 人口論 昭18 一,五〇〇
- 43 ドラウー カントとマルクス主義 昭18 一,五〇〇
- 44 佛典篇 昭18 一,五〇〇
- 45 東西宗教文獻篇 昭18 一,五〇〇
- 46 支那思想篇 昭18 一,五〇〇
- 47 日本思想篇 昭18 一,五〇〇
- 48 ベリスバリー 古代文明研究 昭18 一,五〇〇
- 49 エムス 宗教論 昭18 一,五〇〇
- 50 ショウ 社会主義と資本主義 全2冊 昭49 二,〇〇〇
- 51 シュフランツ 教育と文化 昭49 二,〇〇〇
- 52 山崎 山田 訳文大日本史 全5冊 昭49 二,〇〇〇
- 53 キゾク 羅馬衰亡史 全5冊 昭49 二,〇〇〇
- 54 フルヘルム 政治思想史 昭49 二,〇〇〇
- 55 ウルリス 世界文化史 全3冊 昭49 二,〇〇〇
- 56 日独交渉史話(ラジオ新書) 丸山国雄 昭15 一,〇〇〇
- 57 明治外交史話(ラジオ新書) 渡辺幾治郎 昭15 一,〇〇〇

- 58 ニューギニア 昭17 一,〇〇〇
- 59 佛領印度支那 昭17 一,〇〇〇
- 60 タイ国 昭17 一,〇〇〇
- 61 ビルマ 昭17 一,〇〇〇
- 62 馬來及昭南島 昭17 一,〇〇〇
- 63 インド 昭17 一,〇〇〇
- 64 ジャワ及属島 昭17 一,〇〇〇
- 65 米 国 東 洋 政 策 の 史 的 考 察 昭18 二,〇〇〇
- 66 思想 岩波書店 分売 昭18 一,〇〇〇
- 67 特集号「資本論」と「帝國主義論」 昭18 一,〇〇〇
- 68 特集号「幼見観」 昭18 一,〇〇〇
- 69 特集号「フロイト」 昭18 一,〇〇〇
- 70 特集号「現代社会と情報」 昭18 一,〇〇〇
- 71 特集号「言語と人間」 昭18 一,〇〇〇
- 72 J・Sミル 人と思想 昭18 一,〇〇〇
- 73 特集号「思想総目次」 昭18 一,〇〇〇
- 74 特集号「ルソウ/ヴォルテール」 昭18 一,〇〇〇
- 75 マルクス資本論 昭18 一,〇〇〇
- 76 スミス 国富論 昭18 一,〇〇〇
- 77 小経済学 昭18 一,〇〇〇
- 78 経済成長の研究 昭18 一,〇〇〇
- 79 貨幣の理論的研究 昭18 一,〇〇〇
- 80 マルクス主義経済学の基礎(少冊) 昭18 一,〇〇〇
- 81 インフレーション理論 昭18 一,〇〇〇
- 82 フラスケバー 一般統計学 昭18 一,〇〇〇
- 83 レーニヤ 理論経済学 昭18 一,〇〇〇
- 84 イギリス財政思想史研究序説 昭18 一,〇〇〇
- 85 マルクス経済学原理論の研究 昭18 一,〇〇〇
- 86 安部隆一先生還暦記念号(大阪市大) 昭18 一,〇〇〇
- 87 飯田 繁先生還暦記念号(大阪市大) 昭18 一,〇〇〇
- 88 職業・技術教育特集号(大阪市大) 昭18 一,〇〇〇
- 89 立命館経済学部二十周年記念論文集 昭18 一,〇〇〇
- 90 足立政男教授退任記念論文集(立命館経済学) 昭18 一,〇〇〇
- 91 後藤文治教授退任記念論文集(立命館経済学) 昭18 一,〇〇〇
- 92 梯明秀教授還暦祝賀論文集(立命館経済学) 昭18 一,〇〇〇
- 93 故白杉庄一郎教授追悼論文集(立命館経済学) 昭18 一,〇〇〇
- 94 警備公安警察の研究 昭18 一,〇〇〇

古 書 籍 東 方 書 店

電話(〇七五)四九一三〇七一

1	現代作業教育(児童教育臨時増刊) 児童教育研究会	昭5	五〇〇〇
2	玉川双書学習指導法の体系 河野伊三郎	昭5	六〇〇〇
3	玉川双書芳作教育 小西重直	昭5	七〇〇〇
4	玉川双書独逸学校改革の精神 黒川惠寛	昭5	六〇〇〇
5	体験と作業に換る各学年教育経営(実際篇)岸一敏	昭7	八〇〇〇
6	作業学校の理論と実際 下川履信	昭6	八〇〇〇
7	教育の本質観 玉川双書 小西重直	昭6	五〇〇〇
8	作業主義教育書 回語教育の新機構 坂本豊	昭7	七〇〇〇
9	生活指導に立脚したる低学年教育の研究 静岡県範附属小学校	大15	三〇〇〇
10	現行國民学校令及関係法規總覽 東京行政学会	昭16	八〇〇〇
11	母のための教育講話 小西重直	昭5	五〇〇〇
12	校長訓導 事務統制の研究 山崎博	昭10	五〇〇〇
13	教育の諸説と其実際の価値 横山栄次	大10	三〇〇〇
14	各科指導の真髄 京都附属小学校	昭2	八〇〇〇
15	小学校各教科教授法 乙竹岩造他	昭4	三〇〇〇
16	教育の生活化の実際 水木 梢	昭7	六〇〇〇
17	教育実習指針 滋賀女師附属小学校	大13	二〇〇〇
18	教育紙芝居講座 松永健哉	昭18	五〇〇〇
19	改訂教育学 検定済 小泉又一編	明4	五〇〇〇
20	玩具の遊び方と与え方 東京市社教課編	大15	八〇〇〇
21	小学校に於ける家庭生活指導の手びき 文部省	昭26	三〇〇〇
22	文検参考裁縫教授法精義 裁縫研究会	昭4	四〇〇〇
23	京都府教育会五十年史 京都府教育会	昭5	五〇〇〇
24	学芸会運動会の新研究 北村久雄	昭7	三〇〇〇
25	小学算術教材の基礎的研究 木村教雄	昭13	八〇〇〇
26	算術科主任のたね 山本係一	昭11	一〇〇〇
27	鉱物科の世界 安藤伊三郎 前後篇二冊	昭44	五〇〇〇
28	改訂鉱物教科書 安東伊佐次郎	明42	三〇〇〇
29	新撰地誌一 検定済 岡村増太郎編	明21	四〇〇〇
30	小学校理字問答上、中、下、必賀泰山編	明13	三〇〇〇
31	新撰理科読本第五 武田安之助訳補	明21	四〇〇〇
32	小学校学習指導要領理科篇 文部省	昭27	四〇〇〇
33	高等小学地理書 卷一 文部省	昭15	二五〇〇
34	高等小学地理書 卷一 文部省	昭13	二五〇〇
35	高等小学理科書一、二、学年 文部省	昭7	各三〇〇〇
36	生物2、3. 中学校用検定済 中学校書会社	昭18	各三〇〇〇
37	物象4第一類 中学校用検定済	昭19	三〇〇〇
38	物象3、4. 第二類中学校用検定済 中学校書会社	昭18	各三〇〇〇
39	数学4第一類 検定済 中学校用	昭19	三〇〇〇
40	参考算術書 田所洋次郎	明43	四〇〇〇
41	初等科算数 六 文部省	昭18	三〇〇〇
42	初等科算数 七 文部省	昭18	二五〇〇
43	生物4 中学校用 橋定済	昭19	三〇〇〇
44	修正日本文法教科書上 検定済 大槻文彦	明36	三〇〇〇
45	改訂新文法教科書上 検定済 橋本進吉	昭14	三〇〇〇
46	高等小学読本四 検定済 橋本進吉	昭37	三〇〇〇
47	尋常小学読本一 卷四、文部省	大15	三〇〇〇
48	尋常小学国語読本二、七、八、十、文部省	昭18	各三〇〇〇
49	国語卷三、四、五、六、検定済	昭18	各三〇〇〇
50	高等小学読本五 文部省	明37	三〇〇〇
51	国語読本二 検定済 高等小学校用 坪内雄蔵	明33	三〇〇〇
52	国語読本七、八、検定済 尋常小用坪内	明33	三〇〇〇
53	小学読本高等科卷五、六、内田嘉一編	明25	各四〇〇〇
54	小学中等読本卷二、三、木沢成康編	明25	各四〇〇〇
55	中等文法教科書国語 検定済 三省堂	昭25	三〇〇〇
56	高等国語一、二、三、下 文部省	昭24	各三〇〇〇
57	小学中等読本字引全 樽原室成編	明16	五〇〇〇
58	高等科用普通読本一 編上、下 平井義直編	明20	八〇〇〇
59	小学中等新撰読本四、五、漢文 高橋熊太郎編	明17	各三〇〇〇
60	作文文字類便蒙 松岡彦二編 題名なし	明11	五〇〇〇
61	小学校用歴史一 検定済 辻敬之他	明23	三〇〇〇
62	中等歴史一 文部省	昭19	三〇〇〇
63	修正本邦史綱 峰岸速造 検定済	明41	三〇〇〇
64	西洋歴史地図 検定済 三省堂編	昭2	三〇〇〇
65	小学国史 検定済 普及舎編	明33	三〇〇〇
66	新撰帝國小史 卷一、二、山泉悌三郎	明30	各三〇〇〇
67	師範国史上、下巻 文部省	昭15	六〇〇〇
68	尋常小学国史附五年用 浅田多門	大13	三〇〇〇
69	高等小学国史附上下巻 菊池勝之助他	昭13	五〇〇〇
70	新制世界史一、二、三分冊 世界史研究会	昭24	七〇〇〇
71	高等小学国史上、下巻 文部省	昭15	六〇〇〇
72	高等小学簿記教科書一、二、学年 文部省	昭12	各三〇〇〇
73	高等小学商業教科書一、二、三年用 文部省	大16	各三〇〇〇
74	尋常小学唱歌教授書第四学年 田林虎蔵	大4	五〇〇〇
75	普通音楽教本 検定済 開成館編	明42	三〇〇〇
76	尋常小学唱歌六年 文部省	大3	三〇〇〇
77	高等小学修身書卷一、二 文部省	昭8	一五〇〇〇
78	高等小学修身書四年用 文部省	明38	三〇〇〇
79	高等小学実践修身書徒用 検定済一、二、四	明34	三〇〇〇
80	修身教典 高小女子用 普及舎編	昭14	三〇〇〇
81	中学公民書上巻 文部省	昭9	三〇〇〇
82	東西美術史 原貫之助他	昭16	三〇〇〇
83	礼法要項要義 東洋図書編	昭32	四〇〇〇
84	教育心理学 教師養成研双書	昭26	三〇〇〇
85	最近統制帝國地理師範学校用 検定済 山上方次郎	明42	三〇〇〇
86	日本史教席上巻 北山茂夫他	明43	三〇〇〇
87	改訂心理学教科書 検定済 福来友吉	昭16	三〇〇〇
88	小学日本地理一、二巻 国光社編	明29	六〇〇〇
89	中等東洋史 中学用検定済 羽田亨	昭16	三〇〇〇
90	中等新外国地理 検定済改訂版 田中啓爾	昭18	三〇〇〇
91	高等小学算術書一 学年教師用 文部省	昭12	四〇〇〇
92	高等小学算術書二 二年児童用文部省	昭12	各三〇〇〇
93	カズノホン二、三 文部省	昭16	三〇〇〇
94	成長と発達 教師養成研究双書	昭13	八〇〇〇
95	新学習指導要領 石山脩平	昭15	五〇〇〇
96	德行線 文部省	昭15	五〇〇〇
97	戦時衛生勤務研究録 陸軍々医団	昭15	五〇〇〇
98	高等科国画一 文部省	昭19	五〇〇〇
99	現代新国画一 検定済 国画教育研	昭18	二五〇〇
100	家事提要 検定済 佐方鎮子他	明38	三〇〇〇
101	御国の光近江聖人 高橋俊兼他	昭6	三〇〇〇
102	軍事講話教程 軍事学研究会	昭7	五〇〇〇
103	中学校・高校学習指導要領外語(英語)文部省	昭26	四〇〇〇
104	私たちの歩み 第五次生活教研集会報告	昭31	五〇〇〇
105	小学生の社会私たちの生活は進む5上、下	昭26	七〇〇〇
106	改訂新手上教書上 検定済 岡山秀吉他	昭3	四〇〇〇
107	国画工上教本 学校美術協会	昭15	三〇〇〇
108	初等科国画一、二女子用 文部省	昭17	三〇〇〇
109	熊本県盲人協会々報 創刊号	昭6	三〇〇〇

〒606 京都市左京区北白川久保町64の5
社会科学系と
外山書店
電話(〇七五)七〇一六六・七

1	日本史籍協会叢書			
a	会津藩日記録 全6冊	大7	四〇〇〇	
b	朝彦親王日記 上下	昭4	一四〇〇〇	
c	安達清風日記(背悪シ)全	大15	四〇〇〇	
d	一條忠香日記抄全	大4	八〇〇〇	
e	岩倉具視関係文書全8冊	昭2	一〇六〇〇	
f	大久保利通日記上下	昭2	一五〇〇〇	
g	大久保利通文書全10冊	昭2	一四〇〇〇	
h	押小路用子日記全3冊	大6	一六〇〇〇	
i	勸修寺経理日記全	大9	三〇〇〇	
j	木戸孝允日記全3冊	昭7	・8	二四〇〇〇
k	久世家文書全	大8	三〇〇〇	
l	遺外使節日記纂輯 全3冊	昭3	・5	二五〇〇〇
m	五郷滞在記録 全	昭2	二〇〇〇	
n	近衛家書類 全2冊	大8	一五〇〇〇	
o	西郷隆盛文書集 全	大12	八〇〇〇	
p	坂本龍馬関係文書 全2冊	大15	一六〇〇〇	
q	栗内信善遺稿 全	大11	三〇〇〇	
r	橋本実梁陣中日記 全	昭4	三〇〇〇	
s	戊辰日記 全	大14	八〇〇〇	
t	米沢藩戊辰文書 全	昭10	七〇〇〇	
u	百官履歴 上下	昭2	・3	一五〇〇〇
2	みそ・しょうゆ始祖法燈用明国師	昭52	三〇〇〇	
3	高野長英伝 全	昭3	一〇〇〇	
4	鷹山公偉蹟録	昭9	二〇〇〇	
5	教聖広瀬淡窓の研究	昭10	三〇〇〇	
6	広瀬淡窓(日本教育先哲双書)	昭19	一〇〇〇	
7	道德経済調和之大恩人	大6	三〇〇〇	
8	未聞え偉蹟幽学全書	昭18	一〇〇〇	
9	隨筆藤田東湖	昭15	一〇〇〇	
10	吉田松陰之殉国教育	昭12	三〇〇〇	
11	吉田松陰教育説選集	昭7	二〇〇〇	
12	山鹿素行の教育思想	昭17	五〇〇〇	
13	山鹿素行集	昭16	四〇〇〇	
14	伝記谷三山(儒学)	昭41	二〇〇〇	
15	復古の碩師玉松操 上下	昭2	三〇〇〇	
16	愚翁道話(宮本愚翁)	昭6	二〇〇〇	
17	平田篤胤之哲学(修正版)	昭19	九〇〇〇	
18	石田梅庵	昭16	一〇〇〇	
19	孝明天皇紀 綱文共全6冊	昭46	五〇〇〇	
20	永川清話	昭5	一〇〇〇	
21	大西郷全集 全3冊	昭2	一〇〇〇	
22	伊藤博文伝 全3冊	昭17	二〇〇〇	
23	伊藤新平 全4冊	昭13	三〇〇〇	
24	隨想録	昭11	三〇〇〇	
25	福沢全集 全5冊	昭27	一四〇〇〇	
26	福沢論吉選集 全8冊	昭29	五〇〇〇	
27	福沢論吉の遺風	昭51	二〇〇〇	
28	西村茂樹全集(復刻版)3冊	昭8	二八〇〇〇	
29	泊翁西村茂樹伝上下	昭14	一〇〇〇	
30	泊翁修養訓	昭14	一〇〇〇	
31	国民訓	昭13	一〇〇〇	
32	道德教育講話	昭13	一〇〇〇	
33	鎌田栄吉全集 全3冊	昭10	三〇〇〇	
34	新島先生書簡集 続	昭12	四〇〇〇	
35	石田岩雄遺稿	昭13	八〇〇〇	
36	西田幾多郎先生の生涯と思想	昭22	三〇〇〇	
37	蘇峰文選	大5	八〇〇〇	
38	蘇峰感銘録	昭19	四〇〇〇	
39	言志小録	昭13	四〇〇〇	
40	軍国日本人物大鑑	昭48	七〇〇〇	
41	北一輝著作集 全3冊	昭48	八〇〇〇	
42	武藤貞一評論集戦後篇脱占領体制篇2冊	昭11	四〇〇〇	
43	広田内閣	昭21	一〇〇〇	
44	平和への努力	昭37	一〇〇〇	
45	鳩山一郎回顧録	昭32	一〇〇〇	
46	大野伴睦回想録	昭37	一〇〇〇	
47	改訂増補山本覚馬伝	昭51	一〇〇〇	
48	日本民族	昭27	一〇〇〇	
49	民族の文化について	昭28	三〇〇〇	
50	歴史学研究会編			
51	日本の原始国家	昭43	一五〇〇〇	
52	増訂・切支内史の研究	昭46	六八〇〇	
53	中世文化の基調	昭28	二〇〇〇	
54	増訂改訂近世封建社会史論	昭27	五〇〇〇	
55	鎖国史論	昭19	二〇〇〇	
56	明治維新後に於ける氏子制度の展開	昭18	三〇〇〇	
57	日本社会の史的究明	昭24	一〇〇〇	
58	沖繩の社会と宗教都立大南西諸島研究会	昭46	七五〇〇	
59	俱知安町史	昭26	九〇〇〇	
60	日本歳事史	大11	一〇〇〇	
61	新奄美史 上下	昭55	一八〇〇〇	
62	ラムブレイト歴史的思考入門	昭17	二五〇〇	
63	歴史主義	昭27	一八〇〇	
64	英帝国崩壊の予言者トマス・カール・ラトル	昭18	二八〇〇	
65	英国社会史上下(増訂版)今井登志喜	昭28	二五〇〇	
66	現代フランス論	昭21	一〇〇〇	
67	謎のロシアに於ける	昭15	一〇〇〇	
68	フランス・露西亜印象記	昭45	一五〇〇	
69	東亜文明の黎明	昭14	二〇〇〇	
70	近世東洋文化史	昭23	二〇〇〇	
71	清朝史通論	昭19	二〇〇〇	
72	中国革命史論	昭25	三〇〇〇	
73	国民革命全史	大12	三〇〇〇	
74	抗戦以来蔣主席対日言論摘要	昭24	一〇〇〇	
75	毛沢東伝	昭24	一〇〇〇	
76	毛沢東の旗	昭24	二〇〇〇	
77	中国共産党史	昭21	三〇〇〇	
78	中国共産党と民族統一戦線	昭21	二〇〇〇	
79	ヴェスバ	昭21	二〇〇〇	
80	侵略	昭21	二〇〇〇	
81	台湾文化史	昭33	二〇〇〇	
82	東洋経済学史	昭40	一五〇〇〇	
83	日滿経済五ヶ年計画	昭10	五八〇〇	
84	北支民族工業の発達	昭17	二〇〇〇	
85	新中国经济論	昭13	四〇〇〇	
86	中国经济論(AA双書)	昭47	七五〇〇	
87	中国经济論(AA双書)	昭43	一八〇〇	
88	中国经济論(AA双書)	昭50	一五〇〇	

千602 京都市上京区烏丸通り御霊前下ル
上御霊前町四二二

萩書房

電話(〇七五)四三二一三七二一
振替 京都 一四三三六

- 1 明治以降京都貿易史 京都貿易協会 昭38 八〇〇〇
- 2 京都貿易戦後二十年 京都貿易協会 昭42 四〇〇〇
- 3 大坂蘭学史話 中野操著 思文閣出版 昭54 二八〇〇
- 4 書斎より街頭に 田中王堂著 廣文堂書店 昭44 六五〇〇
- 5 近代宗教学の研究 小田良弼著 明治書院 昭44 二〇〇〇
- 6 不滅の日本芸術 寿岳文章訳 朝日新聞社 昭29 四〇〇〇
- 7 新文学研究第一輯 伊藤整編 金星堂 昭6 五〇〇〇
- 8 新文学研究第二輯 伊藤整編 金星堂 昭6 四〇〇〇
- 9 私の念願 初版函付 柳宗悦著 不二書房 昭17 八〇〇〇
- 10 櫃 初版函付署名人名 新村出著 靖文社 昭15 五〇〇〇
- 11 夢殿 初版 中里介山 大菩薩峠刊行会 昭14 二〇〇〇
- 12 煙草と悪魔 初版函付 芥川龍之介 星文館 昭10 四〇〇〇
- 13 祇園雛子 初版函付 長田幹彦 新小説社 昭9 五〇〇〇
- 14 鳥は単に未完詩篇六道 初版函付 金子光晴 昭50 二〇〇〇
- 15 日本音楽と西洋音楽 兼清清佐 三笠書房 昭16 二〇〇〇
- 16 建築の学と芸 伊東忠太 三笠書房 昭17 二〇〇〇
- 17 機械時代の恋愛 フロイド・デル著 先進社 昭7 二五〇〇
- 18 中世和歌研究 窪田空穂 砂子屋書房 昭18 二〇〇〇
- 19 文芸論集印象と研究 鳴澤尊徳 中外出版 大14 三〇〇〇
- 20 カール・ライプニッツ研究 栗原古城譯 東亜堂書房 昭15 二五〇〇
- 21 パスツール伝 大江專一譯 青年書房 昭15 二五〇〇
- 22 吉田松陰 徳富猪一郎 民友社 昭9 一五〇〇
- 23 吉田松陰 徳富猪一郎 岩波書店 昭17 一五〇〇
- 24 芝居 三宅周太郎 生活社 昭18 一五〇〇
- 25 大阪毎日新聞五十年 大阪毎日新聞社 昭7 三〇〇〇
- 26 釣技百相 松崎明治 朝日新聞社 昭17 五〇〇〇
- 27 運命三世相大集 東洋易学研究会 昭6 三〇〇〇
- 28 日本撰談集 坂田俊夫 潮文閣 昭3 三〇〇〇
- 29 将棋文化史 山本亨介 光風社書店 昭48 三〇〇〇
- 30 昇段熱血棋集 神田辰之助 朝日新聞社 昭13 一五〇〇
- 31 大阪弁入門 前田勇 朝日新聞社 昭36 一〇〇〇
- 32 ボルネオと七レベス 仲原善徳 寶雲舎 昭17 三〇〇〇

千600 京都市下京区寺町通仏光寺下る

三密堂書店

電話(〇七五)三五二一九六六三
振替 京都 三四七一

- 1 仏教大辞典 八冊 望月歡真著 昭41 七〇〇〇
- 2 仏教哲学大辞典 六冊 竜谷大学編 昭9 六〇〇〇
- 3 仏教大辞彙 創価学会編 昭51 二〇〇〇
- 4 富士宗学要集 創価学会編 昭53 一五〇〇〇
- 5 仏教の歴史と文化 仏教史学会編 昭55 三〇〇〇
- 6 日本仏教史研究 藤原猶雪著 昭13 七〇〇〇
- 7 新譯仏教聖典 木津無庵編 昭15 八〇〇〇
- 8 仏教文学物語 深浦正文著 昭4 二五〇〇
- 9 印度の仏教 松原雲来著 昭3 三〇〇〇
- 10 仏教芸術とその人物 松本文三郎著 昭12 三〇〇〇
- 11 仏像新集 権田雷斧著 昭8 一八〇〇〇
- 12 弘法大師伝 蓮生観善著 昭8 八〇〇〇
- 13 弘法大師行状絵詞伝 長谷室秀著 昭9 六〇〇〇
- 14 大國聖人日蓮上人 田中智学著 昭4 二五〇〇
- 15 法華経魂魂 今井鴻象著 昭6 一〇〇〇
- 16 墓相と家運 高森良人著 昭11 八〇〇〇
- 17 周易(平易に説いた) 藤村興六著 昭10 二〇〇〇
- 18 易の新研究 新井白蛾著 昭16 二〇〇〇
- 19 古易断 二十二冊揃 新井白蛾著 安永 四三〇〇
- 20 易学早学 新井白蛾著 喜水 一五〇〇
- 21 推命易学 桜田元門著 昭3 二〇〇〇
- 22 趣味の易学 安元貫哲著 昭4 二〇〇〇
- 23 方鑑類要 八冊揃 松浦琴鶴著 天保8 八〇〇〇
- 24 我一代理命鑑 阿和水海著 大5 三〇〇〇
- 25 姓名学寶典 中村勝年著 昭10 二〇〇〇
- 26 新易典 松田勝左エ門著 昭8 二五〇〇
- 27 千支手相の神秘 佐藤六龍著 昭45 四〇〇〇
- 28 人命と手相の神秘 中村風堂著 昭6 一五〇〇
- 29 生命を見直そう 橋本徹馬著 昭49 八〇〇〇
- 30 霊体結修鎮魂之要諦 宇佐美景堂著 昭53 三〇〇〇
- 31 霊障因縁浄化要義 宇佐美景堂著 昭47 二〇〇〇
- 32 聖域霊障除縮地法 宇佐美景堂著 昭49 二〇〇〇
- 33 浮浪霊鎮魂法要義 宇佐美景堂著 昭42 二〇〇〇

千606 京都市左京区一乗寺里ノ前町24-12

石川古本店

電話(〇七五)七二一五四二九
振替 京都 三二〇八九

- 1 少年愛の美学 稲垣足穂初函徳間書店 昭43 二五〇〇
- 2 まんじ 谷崎潤一郎初函新生社 昭21 三〇〇〇
- 3 女経 村松梢風 中央公論社 昭33 二〇〇〇
- 4 骨董 幸田露伴 東洋堂出版 昭21 一八〇〇
- 5 鮎 武者小路實篤、実業之日本社 昭16 一五〇〇
- 6 柿の種 寺田寅彦函 小山書店 昭21 二〇〇〇
- 7 珍具入門 中野栄三、函 雄山閣 昭45 一五〇〇
- 8 無愛華 九條武子、実業之日本社 昭28 一〇〇〇
- 9 女性美のかがやき 深浦正文、永田文昌堂 昭35 一〇〇〇
- 10 茶とその文化 諸岡存 大東出版 昭16 一五〇〇
- 11 芭蕉を尋ねて 萩原井泉水 春秋社 昭3 二〇〇〇
- 12 啄木詩集(ヨゴレ) 中野重治 月曜書房 昭22 一〇〇〇
- 13 興謝野晶子(イタミ) 兼常清佐 二笠書房 昭23 一〇〇〇
- 14 多くの夜の歌 宮村一 白玉書房 昭41 一〇〇〇
- 15 毎日俳句集、虚子選、田村省三 毎日新聞 昭13 一五〇〇
- 16 隨筆集、丘に立ち、相馬御風、人文書院 昭17 一五〇〇
- 17 隨筆集、春を待ちつつ、萬造寺齊、北大路書房 昭28 一〇〇〇
- 18 隨筆、ゆきほとけ 中川善教、函 昭17 三〇〇〇
- 19 歌集、炎 川田順、竹柏会、函 昭10 一五〇〇
- 20 枯草録 川田順 全國書房 昭21 一〇〇〇
- 21 黄表紙名作集 平安堂書店 大11 三〇〇〇
- 22 我等の郷土と人物 三冊、福井県文化誌刊行会 昭27 四〇〇〇
- 23 名曲に聴く 函 野村光一、三冊、創元社 昭27 五〇〇〇
- 24 靖國の精神 高神寛昇 第一書房 昭17 一五〇〇
- 25 嵐山周辺 高桑義生 推古書院 昭25 一五〇〇
- 26 少女の友 昭17年2月号 各 三〇〇〇
- 27 少女の友 昭28年7月、12月号 各 三〇〇〇
- 28 少女の友 昭29年1月、8月号 分売 各 三〇〇〇
- 29 おもしろブック 昭29年7月号 8月号 各 六〇〇〇
- 30 少年画報 昭26年1月号 各 六〇〇〇

〒600 京都市下京区寺町通り五条上ル

藤井文政堂

電話(〇七五)三五一九三三
振替 大阪 三一五三

1	矢坂寛道声明和讃關係草稿原稿一括	墨	〇〇〇
2	宮内省楽匠高橋静事校正(報恩觀經楷樂法則、いろは歌歌風高揚法則聲明五音譜、光明真言和讃外二十七点)		
3	諸仏綜合法團樂法則(仏教音楽譜)		
4	綜合法楽の手引		
5	雅楽調和讃		
6	施餓鬼作法	廣式 寛潤誌	昭8 一、〇〇〇
7	理趣經法 貞觀寺御記	寛潤誌	昭9 二、〇〇〇
8	般若理趣經 大形 高野古派仮名中曲講朱書	謄写版	昭9 三、〇〇〇
9	真言諸作法集 大正十四年 玉山写		四十二帖八、五〇〇
10	淨土三部經	淨眼範榮	三、〇〇〇
11	淨土三部經		四、五〇〇
12	大般若理趣分	九條殿版	大形 三、五〇〇
13	地藏菩薩本願經	小形 天明版	經本 一、五〇〇
14	關聖帝真經	明治版本版	經本 一、五〇〇
15	佛說弁財天經	平かな訓読 慶応版	經本 七〇〇
16	阿弥陀經	平かな訓読 宝歴版常阿	經本 七〇〇
17	十一面陀羅尼經	平かな訓読 木版	經本 七〇〇
18	金剛般若波羅密經平かな付	大正版本版	經本 八〇〇
19	佛遺經和訓		經本 五〇〇
20	毘沙門天護摩次第		三、〇〇〇
21	五種法 中院		一、〇〇〇
22	庭儀受茶羅供法則		一、〇〇〇
23	三摩耶戒伝聞記	文化七成因写本	一、五〇〇
24	増行事掌中鈔	成園写本	一、五〇〇
25	雙身毘沙門浴油供法	天保三決般写本	一、〇〇〇
26	弁財天女秘法	元文五義園写本	一、〇〇〇
27	金剛峯寺巡禮私記	宝歴十増智写本	一、五〇〇
28	弘法大師勸修修行記	天明三増智写本	一、五〇〇
29	悲願金剛法	文化八無染写本	一、五〇〇
30	壇奥順札抄 口決	安永七澄淵写本	一、五〇〇
31	地藏秘訣	寛政八増卓写本	一、〇〇〇
32	印可供養法 中院三寶院深秘天保写本		一、〇〇〇
33	土砂加持勤行次第		写本 一、〇〇〇
34	毘沙門天王念誦次第	安流	写本 八〇〇
35	春命・掌全和解	一行	一、〇〇〇
36	宿曜經	黄梨版	合本 二、〇〇〇
37	佛界一覽抄	立像寺版	大本 三、〇〇〇
38	梵語千字文	享保版	大本 一、〇〇〇
39	増註六祖壇經	享保版	大本 六、〇〇〇
40	三教指歸素本	合本	半紙 二、〇〇〇
41	孝感冥祥錄	二冊	大本 六、五〇〇
42	三教指歸簡註	二冊	大本 六、五〇〇
43	理源大師寔録	享保版	大本 六、〇〇〇
44	教誡新学比丘行護律儀	藤本弘三郎	大本 一、五〇〇
45	東寺の研究	高貴寺版	昭9 二、八〇〇
46	神儒偶談	玉島美雅	昭9 一、五〇〇
47	聖弘法大師	渡辺霞亭	昭16 七、〇〇〇
48	弘法大師	高神寛昇	昭13 一、〇〇〇
49	苦惱を超越るもの	前島能吉	昭16 一、〇〇〇
50	東西手相学と指紋の研究	柄沢照覚	昭16 一、〇〇〇
51	実験秘法神伝開運百種	柄沢照覚	昭16 一、〇〇〇
52	九星術奥義秘蔵書	陽新堂	昭16 一、〇〇〇
53	家相宝鑑図解	柄沢照覚	昭16 一、〇〇〇
54	曆の本質とその改良	能田忠亮	昭16 一、〇〇〇
55	人生を名前の附け方字引	根本圓通	昭16 一、〇〇〇
56	家運盛衰墓碑相の研究	村田天然	昭16 一、〇〇〇
57	声字流姓名学大奥儀	徳田浩淳	昭16 一、〇〇〇
58	家相の科学	本間五郎	昭16 一、〇〇〇
59	宿曜經占真伝	若原敬經	昭16 一、〇〇〇
60	姓名の真理	永社學堂	昭16 一、〇〇〇
61	周易六十四卦象意秘解付白蛾易学小笈	阿部泰山	昭16 一、〇〇〇
62	六壬運命学	尾島頌閑	昭16 一、〇〇〇
63	方監大成	柄沢照覚	昭16 一、〇〇〇
64	周易占病秘伝	稲葉大靈会	昭16 一、〇〇〇
65	靈感術極意	西村大観	昭16 一、〇〇〇
66	心源術秘書	久保田金平郎	昭16 一、〇〇〇
67	神力術要論	心友社	昭16 一、〇〇〇
68	折禱術伝習録統編	秋永常人	昭16 一、〇〇〇
69	碁盤療法秘伝録	横井無隣	昭16 一、〇〇〇
70	瀧見催眠術自宅独習書		昭16 一、〇〇〇

新刊紹介 吉祥真雄著

般若心経秘鍵講義

A 5版 定価 2,000円

〒300円

好評重版

真言友の会編

弘法のことば

A 5版 900円

〒200円

密教研究必携

夏目祐伸編

密教関係雑誌論文目録

A 5版 2,800円

〒300円

文政堂

〒600 京都市下京区寺町通り五条上ル 電話 (075) 351-9363・振替大阪3151

〒602 京都市上京区今出川通り寺町西入

藤原北御所書房

電話(〇七五)二四一・二五九八

- 富山房百科文庫分売
- 1 全註金瓶梅和歌集 川田 順校 昭13 一、〇〇〇
 - 2 列強現勢史・ドイツ 大類伸 昭13 一、〇〇〇
 - 3 ジオコングダの微笑 ハックスリ 昭13 一、〇〇〇
 - 4 若松賤子集 巖本 善治 昭13 二、〇〇〇
 - 5 フランス戦話集 小林新庄桜井訳 昭13 八〇〇
 - 6 ルーマニア日記 カロツサ 昭13 八〇〇
 - 7 みみずと土 ダーウィン 昭13 一、〇〇〇
 - 8 中央亜細亜探検記 ヘーデン 昭13 一、〇〇〇
 - 9 赤い蠟燭と人魚 少痛 小川 未明 昭13 一、〇〇〇
 - 10 旅こそよけれ 近松 秋江 昭14 一、〇〇〇
 - 11 序曲・入江のほとり マンスフィールド 昭14 一、〇〇〇
 - 12 伊太利の薄明 ローレンス 昭14 一、〇〇〇
 - 13 悪魔の靈葉 上下二冊 ホフマン 昭14 二、五〇〇
 - 14 フランス短篇小説集 2 後藤 外訳 昭15 一、〇〇〇
 - 15 西国立志編 スマイル中村訳柳田校 博文館 昭21 一、五〇〇
 - 16 太陽 3・4号 博文館 昭28各 一、五〇〇
 - 17 太陽 28/13・14・29/11・4 博文館 大11各 八〇〇
 - 18 創業十周年記念 太陽臨時増刊3/12 昭30 二、〇〇〇
 - 19 満都三十年 裏表紙欠 昭31 一、八〇〇
 - 20 満都大観 昭37 一、八〇〇
 - 21 外人の日本観 昭13/15 昭37 一、〇〇〇
 - 22 世界乃変局と日本 昭22/8 昭37 一、〇〇〇
 - 23 世界乃再造 昭24/8 昭37 一、〇〇〇
 - 24 新法改正 昭25/8 昭37 一、〇〇〇
 - 25 現行改正 昭26/8 昭37 一、〇〇〇
 - 26 太陽 33/4 天浜・夢二ら 昭2 大2 六〇〇
 - 27 日本及日本人 元旦号 昭2 大2 一、五〇〇
 - 28 早稲田文学 100(大8)・239(大14) 昭2 大4 二、〇〇〇
 - 29 三田文学 6・7・8 復刻版 昭2 大10 一、〇〇〇
 - 30 十周年記念号荷風・滝太郎ら 昭2 大8 一、〇〇〇

〒602 京都市上京区烏丸通今出川上ル

沢田書店

電話(〇七五)四五二・〇五三三 振替 京都 一九一四八

- 1 吹上の自然 宮内庁吉岡撮影 朝日新聞 昭52 三、〇〇〇
- 2 新修京都双書 光彩社 函付 二十冊揃 昭45 三、〇〇〇
- 3 京都民家譚 毎日新聞京都支局編 函付 昭52 五、〇〇〇
- 4 新訳三才発秘 石橋菊子訳 光彩社 函付 昭53 七、〇〇〇
- 5 和紙稀覓文獻集 限定復刻版 光彩社 昭50 三、〇〇〇
- 6 和紙 7史篇 加藤清治 丸善 カバ付 昭40 七、〇〇〇
- 7 山鹿素行全集 十五冊揃 函付 岩波書店 昭15 二、五〇〇
- 8 二十六六藩の藩学と土風 齋藤應太郎 全国書房 昭19 五、〇〇〇
- 9 大菩薩峠 決定版 中里介山 函付 二十冊揃 昭8 六、〇〇〇
- 10 祭魚洞雑録 濂沢敬三 函付 非売品 昭8 六、〇〇〇
- 11 大杉栄全集 同刊行会 函付 十冊揃 大15 二、五〇〇
- 12 死の島 上下 福水武彦 初版函付 河出書房 昭46 四、〇〇〇
- 13 日本名著全集(分冊売) 函付 興文社 昭3 昭3 一、〇〇〇
- 14 謡曲三百五十番集 三〇〇 読本集 二、五〇〇
- 15 浄瑠璃名作集上下 三、〇〇〇 歌舞伎脚本集 三、五〇〇
- 16 浮世草子集 二、〇〇〇 黄表紙廿五種 二、五〇〇
- 17 彦紫田舎源氏上下 三、〇〇〇 膝栗毛其他上下 三、〇〇〇
- 18 滑稽本集 三、五〇〇
- 19 THE MOUNTAIN LINE FICHER 一、二四年 六、〇〇〇
- 20 日本学生社会運動史 作谷悦光 同志社出版部 昭28 八、〇〇〇
- 21 新島先生と徳富蘇峯 森中章光 函付 同志社 昭38 一、〇〇〇
- 22 自然詩人ワズワース 鷗山弟三郎 新生堂 大15 一、〇〇〇
- 23 英文文学の背景 日高只一 四条書房 昭8 二、五〇〇
- 24 英文学講話 戸川秋骨 東亜堂 明41 一、八〇〇
- 25 幸福について 福原麟太郎 函付新汐社 昭47 二、〇〇〇
- 26 イギリス文学の輪郭 福原麟太郎 研究社 昭30 一、〇〇〇
- 27 英学雑談 福原麟太郎 研究社 昭39 一、〇〇〇
- 28 愛蘭文学研究 佐藤清英文学会 研究社 大11 二、〇〇〇
- 29 鎮撫使さんとお加代 釋舞舟 函付 立命館出版部 昭10 一、〇〇〇
- 30 大愚良寛芸術とその生涯 松村恵介 京文社 昭17 一、〇〇〇
- 31 支那哲学講話 高木八太郎 荻原星文館 昭10 一、五〇〇
- 32 古美術史蹟京都行脚 川勝政太郎 スズカ出版 昭5 一、五〇〇
- 33 鉄道旅行案内 鉄道省 函付 博文館 昭5 一、五〇〇

〒606 京都市左京区田中里ノ前町56

福田屋書店

電話(〇七五)七八一・三三二六

- 1 京都府教育会雑誌 173 176 178 179 185 189 193 207 11冊 明39 42 五、〇〇〇
- 2 京都ダイレクトリイ 井出潔 大正四年版 大4 二、〇〇〇
- 3 きょうと上下 名所と美術の案内 表紙汚レ 明28 四、〇〇〇
- 4 婦人文庫 全十二巻揃 婦人文庫刊行会 大4 六、〇〇〇
- 5 日本女礼式大全上下 坪谷善四郎 博文館 明33 二、〇〇〇
- 6 大空に飛ぶ 北村兼子 絶筆 改善社 昭6 三、〇〇〇
- 7 竿頭の蛇 北村兼子 改善社 昭6 三、〇〇〇
- 8 女子の職業 新撰百種第三編 福良虎雄 明30 四、〇〇〇
- 9 東洋女訓叢書 一・二・三編 三冊 東洋社 明33 四、〇〇〇
- 10 花かたみ 女子の友記者編纂 東洋社 明32 二、〇〇〇
- 11 下田歌子先生家政学講義 北海道教育会 明36 三、〇〇〇
- 12 現代と婦人の生活 平塚雷鳥 日月社 大3 四、五〇〇
- 13 わたくしの歩いた道 平塚雷鳥 昭36 三、五〇〇
- 14 彼女の生活 田村俊子 新潮社 保存下 大6 一、五〇〇
- 15 女の肖像 古屋登代子 昭15 二、〇〇〇
- 16 随筆集村の秋と豚 山川菊栄宮越太陽堂 昭16 一、五〇〇
- 17 華山文章 茅原廉太郎 明45 六、五〇〇
- 18 銀杏の葉蔭 茅原華山 昭39 二、〇〇〇
- 19 わが心の愛読書 片山哲 識語署名入 昭39 二、〇〇〇
- 20 黎明期日本社会政策思想 住谷悦治 昭12 一、五〇〇
- 21 明治十二傑 太陽臨時増刊 明32 三、五〇〇
- 22 自傳 中村正直伝 石井民司 明40 四、〇〇〇
- 23 教育と宗教の衝突 井上哲次郎 敬業社 明26 七、〇〇〇
- 24 天則百話 加藤弘之 博文館 明32 三、〇〇〇
- 25 仏教改革談 加藤弘之 金港堂 明35 三、〇〇〇
- 26 国史之教育 喜田貞吉 歴史地理学会 明37 二、〇〇〇
- 27 史学会論双第一輯 重野安繹他 富山房 明44 二、五〇〇
- 28 論文集 元良勇次郎 弘道館 明42 二、五〇〇
- 29 社会心理と教育 遠藤隆吉 成美堂 明41 三、五〇〇
- 30 続初学年児童取扱法 大川義行他 大3 三、五〇〇
- 31 患童研究 沢柳政太郎 日本学童会 大6 四、〇〇〇
- 32 趣味乃天文。最近之宇宙観。一戸直藏 明10 二、〇〇〇
- 33 輝美しき光波 石原純 弘道館 明41 二、〇〇〇

文藻堂

〒604 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル 振替 京都22807
電話 (075-231-1914)

1 河東碧梧桐 野茨の実を摘む人のつみあかする

絹極美 三三,000円

野茨の実を摘む人のつみあかする

2 河東碧梧桐 いつもの処に坐つて蚊を追うてゐる

砂子極美 三三,000円

いつもの処に坐つて蚊を追うてゐる

3 河東碧梧桐 上京名残りつむ松二本のよりて立つかけ

少シミ絹 二〇,000円

上京名残りつむ松二本のよりて立つかけ

4 中村草田男 万緑の中や吾子の歯生え初むる

折し有 四〇,000円

万緑の中や吾子の歯生え初むる

5 渡辺水巴 旅をやめて蓮句や庭の柳見る

極美 二〇,000円

旅をやめて蓮句や庭の柳見る

6 中塚一碧楼 わづかに海見え日くる。みちゆく

砂子極美 二〇,000円

わづかに海見え日くる。みちゆく

7 萩原井泉水 いでの能はし病む身を逃りこぼる

砂子極美 一五,000円

いでの能はし病む身を逃りこぼる

8 塩谷鶴平 汐返りたる神とわれ共にあり

美 八,000円

汐返りたる神とわれ共にあり

9 湯室月村 竹の葉にためる雨や明け易き

砂子極美 五,000円

竹の葉にためる雨や明け易き

10 寒川胤骨 突如来て宿かる鼠の時雨哉

少シミ 五,000円

突如来て宿かる鼠の時雨哉

11 寒川胤骨 雲雀巢に案内しまららず渡鳥

少シミ 五,000円

12 寒川胤骨 船つれて船を上げば蜜かな

少シミ 五,000円

13 川西和露 天の川焼岳は飛驒晴れに噴く

絹少シミ 二〇,000円

14 伊藤松宇 竹の雪しづれてをしの離れけり

美 六,000円

15 巖谷小波 四君子の野暮を笑て柳かな

美 六,000円

16 角田竹冷 明くる夜の落花踏み行く素足哉

極美 六,000円

17 岩動炎天 はらくとか、るあはれや小鳥網

極美 五,000円

千604 中京区丸太町通千本西入南側

八木書店古書部

電話(〇七五)八一—三八九〇

- 1 芦雪筆 山中月明鹿之図 一幅 一五〇〇
- 2 山元春汀筆 ハガキ一枚 大11
- 3 和田英作筆 ハガキ一枚 大7
- 4 小川翠村筆 ハガキ一枚 昭15
- 5 桑木殿翼筆 絵ハガキ一枚 昭29
- 6 竹田益州筆 ハガキ一枚 建仁寺管長 昭29
- 7 浜田耕作筆 絵ハガキ一枚 明36
- 8 山田敬中筆 絵ハガキ一枚 芭蕉堂主 明29
- 9 岩井藍水筆 書翰一通 直入先生宛 明29
- 10 文年筆 書翰一通 直入先生宛 明29
- 11 岡崎藩渡辺養園筆病院設立之礼状一通 明2頃
- 12 利休堂大徳寺下加茂写真小品3枚傷有 明2頃
- 13 大阪京橋高津神社住吉神社写真小品3枚傷有明20頃 二〇〇〇
- 14 女子入教門(出産等作法口伝書) 江戸末 二〇〇〇
- 15 岡崎藩牧興七郎筆病院設立之礼状一通 明2頃 二〇〇〇
- 16 川村曼舟筆 書翰一通 天保15 八〇〇〇
- 17 鑿工譜畧 横本 嘉永12 五〇〇〇
- 18 巢鴨御側医師日記 伯番玄琦筆 江戸末 二〇〇〇
- 19 白ひきうた 木版 江戸末 二〇〇〇
- 20 加藤ソヅエ筆(社会党人)真実一路小品一紙 二〇〇〇
- 21 探幽筆 お多福之図 一幅 傷有 二〇〇〇
- 22 江田三郎筆(社会党人)識語一紙小品 二〇〇〇
- 23 河村丈太郎筆(社会党人)詩一紙小品 二〇〇〇
- 24 本朝儒名志 上中下合本 写本 江戸末 八〇〇〇
- 25 句集春帖 芝蘭外虫入絵入京藤八板 寛政8 八〇〇〇
- 26 蒙古春興帖2冊 蟻州外絵入 千抄園 天保10 八〇〇〇
- 27 蒙古軍政府歩兵上校任命書近藤又雄 建国元 五〇〇〇
- 28 西山随筆(光園)写本 享和4 三〇〇〇
- 29 久勝筆 天満宮御像 一幅 三〇〇〇
- 30 祐天上人御筆 六字名号 一幅 八〇〇〇
- 31 北山抄巻27年中要抄天慶天和天曆諸記古写本 五〇〇〇
- 32 新教之起原一名ル―テル実伝 明45 二〇〇〇
- 33 龜田菊葉先生筆 書翰一幅 三〇〇〇

- 34 近畿に於ける慶長以前の石燈年表50部限定 大9 二〇〇〇
- 35 川柳句会帳 3冊 明26 五〇〇〇
- 36 濠洲の資源と植民問題 宮田峯一 初版 昭19 五〇〇〇
- 37 池田雲樵筆 女性戯画 一幅 一五〇〇〇
- 38 古鳴筆 鐘鬼之図 一幅 五〇〇〇
- 39 龍谷枝子福田寺本寛筆 実語箋一戒 一行一幅 三〇〇〇
- 40 凌雲堂文翼筆 詩書 一幅 三〇〇〇
- 41 師範大学講座12冊揃 理科教授資料 昭11 三〇〇〇
- 42 禮法の研究 櫻井役 昭19 三〇〇〇
- 43 新釋戦事雑祭祝詞集 佐藤三郎 初版 昭12 三〇〇〇
- 44 兒童福利増進展覧會資料 京都府社会課 昭13 三〇〇〇
- 45 恩輝軒主人小伝 川島織物甚兵衛翁 再版 昭39 五〇〇〇
- 46 佐賀閑史 別府山田宇吉著 初版 昭14 三〇〇〇
- 47 中村采助述90年 高山義三の父 昭13 三〇〇〇
- 48 南洋の民族上巻 水田外共著 蔵印有 昭17 三〇〇〇
- 49 決闘生活の河 クープリン著昇曙夢譯 昭12 五〇〇〇
- 50 稲荷神社史料第七輯 享保と明治旅中錢勘定 昭9 五〇〇〇
- 51 日本兵食史下巻 陸軍糧秣廠 表紙欠 昭9 五〇〇〇
- 52 自助論合本 スマイルス著野上賢造譯 明40 三〇〇〇
- 53 史学界第3巻1〜12月合本製本 大7 二〇〇〇
- 54 自学の義戦(ヘルギー)町田梓抄譯 明36 三〇〇〇
- 55 椿姫 秋濤譯 初版裏表紙欠 明42 二〇〇〇
- 56 源氏と平氏 大町桂月 初版背傷 昭12 二〇〇〇
- 57 恩賜財團 濟生会志 昭24 二〇〇〇
- 58 罪の季節 大森忠行詩集 昭16 二〇〇〇
- 59 地上の歌 上村肇詩集 昭16 二〇〇〇
- 60 90年刊文芸京都 昭36 三〇〇〇
- 61 絵画辞典 柿山蕃雄著奥付欠 明39 五〇〇〇
- 62 註釋假名の日本書紀上巻 植松安 昭4 二〇〇〇
- 63 速成詩文学独習書 1〜14号合本製本 明20 五〇〇〇
- 64 国文学の哲学的研究 土田杏村全集(1) 昭22 三〇〇〇
- 65 菊地寛全集第12巻勝敗新道 カバ1欠汚 昭17 五〇〇〇
- 66 東洋絵巻全集 湯川左右 昭7 三〇〇〇
- 67 家具小史 湯川左右 昭7 三〇〇〇
- 68 西洋音楽物語 大田黒元雄 昭8 三〇〇〇
- 69 榜牛全集第5巻 瀧口入道外 明44 二〇〇〇
- 70 公民教育大系 文部省編 昭7 五〇〇〇
- 71 日本紙業綜覽 王子製紙 昭12 八〇〇〇
- 72 19世紀仏国絵画史 木下春太郎譯 初版汚 昭18 三〇〇〇

- 73 京都ごども博覧会誌 荒木利一郎編 昭2 八〇〇〇
- 74 我が郷土の史蹟と伝説上巻 渋谷善奥付欠 大正末 二〇〇〇
- 75 大日本染織要鑑 染織と日本社編 大12 五〇〇〇
- 76 美沫集 森鷗外著 明39 三〇〇〇
- 77 有本国歳翁 舞鶴出身洋服王 昭6 三〇〇〇
- 78 六波羅と鎌倉 本間蓬草著 明42 三〇〇〇
- 79 建国神話埃及物語 前田長太 大元 二〇〇〇
- 80 室町時代史 渡辺正祐 明40 五〇〇〇
- 81 師範時代史 76・100合本 151・175合本明11・13 各冊 八〇〇〇
- 82 帝國歌学史上巻 神谷保朗 明42 三〇〇〇
- 83 内外教育史 能榮榮 昭30 八〇〇〇
- 84 大野人森田茂 元京都市市長 昭11 三〇〇〇
- 85 杉本哲郎宗教画集 著者署名カバ1欠 初版 昭24 八〇〇〇
- 86 芭蕉全集 俳語文庫第一編 河心庵雪人 明30 三〇〇〇
- 87 野球史 中沢不二雄 初版 昭31 三〇〇〇
- 88 日本史蹟 熊田宗次郎 背傷 大10 五〇〇〇
- 89 明治天皇御製集昭憲皇太后御歌集 (短歌全集別巻) 昭4 二〇〇〇
- 90 雜誌京都2号(バラ)21冊 昭25 八〇〇〇
- 91 金地着漢元法筆 虫入詩一幅南禅寺旧 一八〇〇〇
- 92 城山和尚筆 達摩像画賛 一幅 少しみ有 三〇〇〇
- 93 妙心寺史上下2冊 川上孤山 大6・10 八〇〇〇
- 94 東遊記 橘南谿著 前後編合本 明治版 三〇〇〇
- 95 仁王般若経疏 6冊揃 吉蔵法師 寛文元 一五〇〇〇
- 96 天文秘事記日和見相伝外 写本 虫入 江戸末 五〇〇〇
- 97 燈下雜話(加茂雜記)加茂経春後序写本 嘉永 五〇〇〇
- 98 白石遺考2冊木瓜考人名考外 湯島館氏筆 文化15 八〇〇〇
- 99 来青閣販売書目 民国31 三〇〇〇
- 100 桶流筑前屋懸け古本 常陸丸広瀬中佐外 大4 三〇〇〇
- 101 無着禪師筆 達摩像賛 一幅 一五〇〇〇
- 102 志士淑女之想海 繡江著 初版 明21 三〇〇〇
- 103 岡田為恭筆 樹上日之出図 一幅 傷有 一五〇〇〇
- 104 浄土文類聚鈔巻抄 合本 寛永13 二〇〇〇
- 105 大徳寺大綱老師筆 画賛 一幅 三〇〇〇
- 106 北海道鉄道貨物資金表 大正 三〇〇〇
- 107 親鸞聖人御旧跡24輩道しるべ 横和本 明26 五〇〇〇
- 108 魚房師一代集 秋之部一冊 文暁肉筆 江戸末 五〇〇〇
- 109 全国書籍業組合員名簿 昭13 三〇〇〇
- 110 関雪筆 金袋之図 妙心寺管長徹宗和尚賛 一幅 八〇〇〇

千612 京都市伏見区深草稲荷鳥居前町22
山崎書店

電話(〇七五)六四一四七七四
郵便振替 京都 一八三六

1	埃及美術史	石山徹郎	昭4	三、〇〇〇
2	希臘彫刻史	レーヴ	昭17	三、八〇〇
3	希臘彫刻模倣論	ギンケルマン	昭18	四、〇〇〇
4	フアン・アイケ全作品集	中央公論社	昭55	三、〇〇〇
5	レオナルドの手記	中橋善之助訳	大11	三、五〇〇
6	宗教改革期の画家 デューラー 木村荘八	デューラー 木村荘八	大9	六、〇〇〇
7	ヴェラスケス	古澤岩美	昭18	一、〇〇〇
8	ルーベンス	土井善信	昭18	一、〇〇〇
9	世界素描大系 揃四	講談社	昭5	五、〇〇〇
10	西洋美術史要説	嘉門安雄編	昭47	二、五〇〇
11	西洋美術史論考	澤木四方吉	昭18	三、五〇〇
12	民族的色彩を主とする近代美術史論 坂垣鷹穂	古澤岩美	昭2	二、五〇〇
13	ゴヤ	古澤岩美	昭18	一、五〇〇
14	ドラクロア	坂崎 坦	昭42	八、〇〇〇
15	十八世紀フランス絵画の研究 坂崎 坦	坂崎 坦	昭44	八、〇〇〇
16	名画の秘密 マドレーヌ・ウール	福島繁太郎	昭51	三、〇〇〇
17	印象派時代	福島繁太郎	昭23	二、五〇〇
18	エコール・ド パリ313	松谷 沢	昭32	二、三〇〇
19	ソビエト美術論	式場隆三郎	昭17	六、〇〇〇
20	夜の向日葵(テオの手紙)	式場隆三郎	昭28	四、〇〇〇
21	ゴッホ巡礼	アルト	昭46	二、五〇〇
22	ヴァン・ゴッホ	ホルデンファルク	昭32	二、〇〇〇
23	ヴァン・ゴッホの世界	ホルデンファルク	昭36	二、〇〇〇
24	ゴッホ 二冊揃	コキオ	昭18	二、五〇〇
25	新訳ルノアル	ヴォアラル	昭18	二、〇〇〇
26	ロダン フランスの聖堂	ヴォアラル	昭18	六、五〇〇
27	叔父ドガとその生涯 高橋 ジャンヌ・フェブル	小林太市郎	昭21	一、五〇〇
28	北斎とドガ	黒田重太郎	昭51	四、五〇〇
29	セザンヌ以後	ヴォアラル	昭21	二、五〇〇
30	セザンヌ	ヴォアラル	大10	二、〇〇〇
31	十九世紀仏国絵画史	木下木太郎訳	大8	二、五〇〇
32	後期印象派と立体派画史	久米正雄	昭6	一、八〇〇
33	回想のロートレック	コキオ	昭52	二、〇〇〇

34	シュレリアリズム	バトリック・ワイドベルグ	昭48	一、六〇〇
35	クールベ	造形社	昭47	二、六〇〇
36	クールベ 岩波新書	岡田泰祥	昭4	一、五〇〇
37	絵筆を載せて	黒田重太郎	大14	一、八〇〇
38	近代絵画	沢編 署名	昭19	二、〇〇〇
39	ソビエト美術論	松谷	昭32	二、〇〇〇
40	パリ画信	萩須高徳	昭26	二、〇〇〇
41	キュビズムの画家たち	アポリネール	昭32	二、五〇〇
42	アポリネールの情熱的生涯	ヴエルニエ	昭52	一、四〇〇
43	巴里文壇アルバム	村松嘉津	昭24	二、五〇〇
44	パリの晝と夜	藤田嗣治	昭44	七、五〇〇
45	パリの手記 五冊揃 初	辻邦生 完	昭48	五、〇〇〇
46	美術新論「コロロ研究」	柳 亮	昭5	二、〇〇〇
47	あのパリこのパリ	矢内原伊作	昭24	八、〇〇〇
48	ジャコメッティとともに	斎藤隆三	昭46	一、八〇〇
49	日本美術院史	矢代幸雄	昭19	五、八〇〇
50	日本美術の特質	濱田耕作	昭18	七、五〇〇
51	日本美術史研究	佐藤 佐	昭3	一、六〇〇
52	日本建築史	關野 貞	昭12	五、〇〇〇
53	日本建築史講話	金原省吾	昭18	二、五〇〇
54	日本芸術論	杉本文太郎	昭3	五、五〇〇
55	日本庭園法 解	望月信成	大3	五、五〇〇
56	日本上代の彫刻	野間清六	昭18	二、五〇〇
57	日本彫刻の美	石井伯亭	昭17	二、〇〇〇
58	日本絵画三代志	明石染人	昭6	五、〇〇〇
59	染色文様史の研究	藤原義一	昭19	五、五〇〇
60	京の古建築	ラゴン	昭38	一、五〇〇
61	現代建築 ミチシエル	志賀重昂	昭54	四、七〇〇
62	日本風景論 復刻 解題付	中井宗太郎	昭51	三、〇〇〇
63	日本絵画論	野口米次郎	昭18	二、〇〇〇
64	芸術殿	村上憲司	昭42	二、〇〇〇
65	西洋服装史	江馬 務	昭26	一、五〇〇
66	世界服装史要(増補)	江馬 務	昭26	一、五〇〇
67	日本服飾史要(増補)	フエノロサ	昭13	五、〇〇〇
68	東亜美術史綱 四冊揃	梅原末治	昭19	二、〇〇〇
69	支那考古学論攷	下村英時	昭39	五、〇〇〇
70	天心とその書簡	福永武彦	昭14	六、〇〇〇
71	裸體芸術社社会史	ハウゼンシュタイン	昭50	二、〇〇〇
72	ゴーガンの世界	福永武彦	昭50	二、〇〇〇

73	新譯ゴーガン	モリス	昭21	二、五〇〇
74	ゴーガンの手紙	税所篤二	大12	二、〇〇〇
75	岸田劉生とその周辺	東 珠樹	昭49	二、五〇〇
76	岸田劉生 23 近代画家研究資料	武者小路実篤	昭52	各、五〇〇
77	岸田劉生	市民文庫	昭27	一、〇〇〇
78	美の本体劉生	岩波書店	昭7	七、五〇〇
79	岸田劉生全集	岩波書店	昭41	六、五〇〇
80	日本の自画像 限定	桑原住雄	昭36	三、五〇〇
81	東洋のガラス(中国 朝鮮 日本)三彩社	三十三間堂 奉賛会	昭52	三、〇〇〇
82	三十三間堂	未発表作品集	昭53	三、〇〇〇
83	長谷川利行	久保貞次郎	昭53	二、八〇〇
84	わたしの出会った芸術家たち	洲之内徹	昭13	七、〇〇〇
85	気まぐれ美術館	尾崎 盛	昭13	七、〇〇〇
86	支那古陶磁の鑑賞	大河内正敏	昭21	二、八〇〇
87	茶 腕 碗	藤原義一	昭19	五、五〇〇
88	京都の古建築	美術史学会	昭18	五、五〇〇
89	別尊京都仏像図説	新潮社	昭34	八、五〇〇
90	日本文化研究 一―五	寺尾 勇	昭53	一、五〇〇
91	美の論理	高田博厚	昭53	一、五〇〇
92	もう一つの眼	高田博厚	昭51	一、〇〇〇
93	分水嶺	隈元謙次郎	昭53	四、〇〇〇
94	明治初期米朝伊太利亞美術家の研究	黒田昇義	昭30	三、五〇〇
95	大和の古塔 創元選書	小島政二郎	昭39	一、二〇〇
96	日本の文様	吉田 二	昭19	二、〇〇〇
97	葛飾北斎	吉田 二	昭19	二、〇〇〇
98	北斎論	吉田 二	昭19	二、〇〇〇
99	浮世絵辞典 上	野口米次郎	大15	二、五〇〇
100	浮世絵の裏と表	野口米次郎	大3	二、〇〇〇
101	春信 清長 写楽論	黒田源次	昭49	一、八〇〇
102	西洋の影響を受けたる日本画	黒田源次	昭49	一、八〇〇
103	アンドレ・マツソン版画作品集(限定)	岩波書店	昭36	一、六〇〇
104	ルオー 受難 パシオン	丹波恒夫	昭37	三、五〇〇
105	版 画 岩波新書	小野忠重	昭36	一、六〇〇
106	横濱浮世絵	丹波恒夫	昭53	三、〇〇〇
107	広 重 岩波書店	大隈為二	大10	一、〇〇〇
108	泰西名画家	江野桐谷	大10	一、〇〇〇
109	ジヨト	大隈為二	大10	一、〇〇〇
110	シヤブアヌ	大隈為二	大10	一、〇〇〇
111	コンステンブル	石川欣一郎	大10	一、〇〇〇

〒530 大阪市北区芝田一丁目六番二号
阪急古書のまち

(株)臨川書店 大阪店

電話(〇六)三七四一、三〇〇番
振替 京都八〇〇〇番

營業時間 午前十一時—午後八時 定休日 毎週水曜日

- 1 龍鶴詩文集 森靖 桑名藩士 甲辰年刊 一四〇〇〇
- 2 從鶴詩集 岡崎元軌序 竺知影 文政七年 二四〇〇〇
- 3 山陽先生書後併題跋(附録欠)
- 4 山陽詩鈔集解 二宅左平註釈 明14 四二〇〇〇
- 5 江戸名勝詩 大沼枕山 下谷吟社 明11 少虫 一五〇〇〇
- 6 鶴鳴詩 鶴田斌 佐賀藩儒 明12 一三〇〇〇
- 7 達軒詠古詩鈔 楊守敬著・安繹・剛序 敬字後 明17 一八〇〇〇
- 8 賜研樓詩 敬字他唱和 小野湖山豊橋 明17 二八〇〇〇
- 9 樞台詩鈔 二宅左平 加納藩儒 明24 三八〇〇〇
- 10 小松遺稿 川田剛序・旭巻・枕山・後藤松陰 明28 二五〇〇〇
- 11 雲海詩鈔 長岡護美 伊勢藩 儒者 明33 二五〇〇〇
- 12 碩水文章 楠本謙三郎 儒者 長崎 明36 一四〇〇〇
- 13 熙春詩鈔卷之一 桜井桂村 医師 京都 明41 二五〇〇〇
- 14 奠陰集 中井積善 懷德堂記念会 明44 五七〇〇〇
- 15 晚晴樓詩鈔 村田香谷 商家 福岡 明45 二四〇〇〇
- 16 笠庵詩鈔 山根虎之助 並東時報主筆 明45 二四〇〇〇
- 17 芸備游鈔 吉嗣拜山 商家 太宰府 大元 二二五〇〇
- 18 靜處山房集 福田子徳 紀州 大元 二二〇〇〇
- 19 雲林唱和集 岸富仙・山口霞村 大元 二二〇〇〇
- 20 納齋遺稿 山本忠篤 佐渡 医師 大元 二二〇〇〇
- 21 天龍漁史詩鈔 不折岡・棟南評 小林天龍 新聞記者 信州 大元 二二〇〇〇
- 22 菊花賦 南岳評 夢竹越智百哲 大元 二二〇〇〇
- 23 古齋詩存卷一 吉嗣拜山 商家 大元 二二〇〇〇
- 24 七香齋詩鈔 藤沢南岳 大阪儒者 大元 二二〇〇〇
- 25 泰山遺稿 田中青山・股野藍田序 上方久元伯 大元 二二〇〇〇
- 26 日本漫遊詩草 北浪多田清 大阪 大元 二二〇〇〇

- 27 習靜樓遺稿(再刷) 岩國藩土吉川公 大元 二二〇〇〇
- 28 水題襟集 西村時彦・湖南・雨山序 大元 二二〇〇〇
- 29 霞溪山人詩集 坂本 已 讚岐 大元 二二〇〇〇
- 30 凌瀟集 出辺朝堂 二松学舎教授 大元 二二〇〇〇
- 31 碧社詩甲籤 磯野惟秋編 漢詩人大阪 大元 二二〇〇〇
- 32 長興山莊雅會集 小室黎雲・若槻礼次郎他 大元 二二〇〇〇
- 33 林叟遺稿 林田良平 摂津池田 大元 二二〇〇〇
- 34 閑翁遺稿 岡村達 大和郡山柳生藩 大元 二二〇〇〇
- 35 奎堂詩存 清浦奎吾 政治家 大元 二二〇〇〇
- 36 成齋先生遺稿 重野安繹 修史家 薩摩 大元 二二〇〇〇
- 37 古稀唱和 六石・雨山・豹軒他 大元 二二〇〇〇
- 38 徽州絶句 浜田忠久 印刷業 大阪 大元 二二〇〇〇
- 39 听江絶句鈔 雨山序 入沢賢治 岡山 大元 二二〇〇〇
- 40 海鶴遺稿 菱田重綱 大巨藩儒 大元 二二〇〇〇
- 41 閑雪詩稿(再版) 橋本閑雪 商家 大元 二二〇〇〇
- 42 柳下集 永山近彰 前出家家令 大元 二二〇〇〇
- 43 松籟餘韻 湖南・槐南・五峰評 大元 二二〇〇〇
- 44 独往縦情集 惟秋序・南岳・湖山・秋渚評 大元 二二〇〇〇
- 45 聽泉水田淳治郎 精華吟社 大阪 大元 二二〇〇〇
- 46 香韻遺稿 大塚香邨 郭吟社 大阪 大元 二二〇〇〇
- 47 止舟齋詩鈔 前田慧雲 本願寺 大元 二二〇〇〇
- 48 桑蓬集 小川琢治 地理学者 大元 二二〇〇〇
- 49 樓寧部令詩 狩野直喜 内藤湖南序 大元 二二〇〇〇
- 50 浩歌歌筆集 武市南風 名古屋毎日 大元 二二〇〇〇
- 51 超然樓詩存 雨山序 木村得善 大元 二二〇〇〇
- 52 梅花白屋詩鈔 田保橋四郎平 能登 大元 二二〇〇〇
- 53 雲齋遺稿 辻高取 京都 大元 二二〇〇〇
- 54 仙山莊唱和集 高取九郎編 佐賀 大元 二二〇〇〇
- 55 松軒詩草 藤脇善政 松江 大元 二二〇〇〇
- 56 西溪遺稿 高取伊好 実業家 佐賀 大元 二二〇〇〇
- 57 病床録 物安近重 京都 大元 二二〇〇〇
- 58 杏淵詩存 洪沢栄一 遺著 実業家 大元 二二〇〇〇
- 59 孤山詩存 鈴木虎雄序 白莊同芳之助 実業家 大阪 大元 二二〇〇〇

- 60 桂仙詩存 桂仙面勝 池田桂仙 画家 大元 二二〇〇〇
- 61 市隱詩鈔 児玉正道 秋田 大元 二二〇〇〇
- 62 杜峯甲戌 乙亥詩草 庄司吉吉 大元 二二〇〇〇
- 63 赤城詩稿 田島錦治 京帝大教授 大元 二二〇〇〇
- 64 馬牛裾餘輯 橋本海閑 明石 大元 二二〇〇〇
- 65 向陽書屋絶句成籤 木南保之助 播磨 大元 二二〇〇〇
- 66 読無字書齋詩鈔 浦田長民 神宮 大元 二二〇〇〇
- 67 永松豊山先生詩集 中松木長 京都 大元 二二〇〇〇
- 68 西爽亭墨縁 方谷 永松・蘇峰等の墨蹟詩文を収む 柚木玉郎 画家 岡山 大元 二二〇〇〇
- 69 三惜屋初稿 藤沢草次郎 大阪 大元 二二〇〇〇
- 70 竹深居詩存 山下海溪 広島師範 大元 二二〇〇〇
- 71 繁圃詩集 七居通豫序 山口正広高知 大元 二二〇〇〇
- 72 春及岩詩稿(永富撫松遺稿)
- 73 雨田仔稿 藤山雷太 鹿島守之助編 大元 二二〇〇〇
- 74 博約寿帖 博文館主大橋新太郎翁七十五才を頌した諸橋轍次他一二五名の寿言集 大元 二二〇〇〇
- 75 椰陰詩文集 小林了諦 真宗僧 越前 大元 二二〇〇〇
- 76 南柯集 工学博士的場中追憶録東大 大元 二二〇〇〇
- 77 遊金剛山記 岡次郎 東京 大元 二二〇〇〇
- 78 愛冷吟草 百川序 落合為誠 熊本 大元 二二〇〇〇
- 79 萬城成寅詩稿 奥田士良 東洋紡 大元 二二〇〇〇
- 80 養浩堂詩鈔(第二詩文集) 三条実美・勝海舟・李鴻章等序 高島栗香 宮内庁 大元 二二〇〇〇
- 81 桂南詩集 田中澄太郎 医師 長崎 大元 二二〇〇〇
- 82 翠江詩鈔 片岡長信 大阪 大元 二二〇〇〇
- 83 明山詩鈔 久保郁藏 医師 大阪 大元 二二〇〇〇
- 84 新刊唐末千家聯珠詩格 安政三年 小横本 大元 二二〇〇〇
- 85 無雙字林大増活益会本篇 銀栄堂版 明24 大元 二二〇〇〇
- 86 懷風藻 杉本行夫註釈 大元 二二〇〇〇
- 87 同語と国民性 日本漢文学史 芳賀貞一遺著 大元 二二〇〇〇
- 88 近江奈良朝の漢文学 岡田正之 大元 二二〇〇〇
- 89 鎌倉時代文学新論 野村八良 大元 二二〇〇〇
- 90 増補鎌倉時代文学新論 野村八良 大元 二二〇〇〇
- 91 鎌倉室町時代文学史 藤岡作太郎 大元 二二〇〇〇
- 92 南北朝時代文学新史 斎藤清衛 大元 二二〇〇〇

福井久蔵著作選集

国語学、和歌連歌研究に不滅の業績を遺した
碩学福井久蔵の代表的著作七点を復刊！

全七巻 八冊

国語学史

昭和前期における国語学研究の状況を諸説を説明しつつわかり易く史的に叙述。定価九〇〇円

増訂日本文法史

日本文の文法を、諸学説によりつつ、時代区分に従って史的に考察を行った力作。定価九五〇円

大日本歌学史

奈良期から明治末に至る歌学の起源、発達、沿革を精緻な筆で書き表わした名著。定価八〇〇円

本菟玖波集新釈

諸写本を校勘し、適正のもののみを採録して注釈を加えた、菟玖波集新釈書。揃価一三五〇円

犬筑波集研究

諸写本について解説を加え、さらに所収の句に精細な解釈を付した必読の研究書。定価七三〇円

連歌の道

新研究の成果を加え新観点から考察した独自の連歌史であり、連歌研究者必携書。定価四〇〇円

和歌連歌俳諧の研究

連歌研究を中心に、和歌、連歌、俳諧の歴史的な関連に鋭い論述を加えた必読書。定価七二〇円

●A5判・上製・函入 全七巻八冊揃定価五八五〇〇円

国語学大系

福井久蔵編 全十巻

絶賛発売中!

わが国における日本語研究の歩みとその成果を全網羅！基本資料を部門別に分類・編纂し、さらに詳細な解題を加えた待望の名篇！

●A5判・上製・函入 揃定価四五〇〇〇円

内容	
①	語法総記(一)
②	音韻
③	文字(一)
④	假名遣
⑤	手瀬波(一)
⑥	方言(一)
⑦	⑧
⑨	⑩



国書刊行会

*注文制です。お近くの書店にお申し込み下さい。
〒170 東京都豊島区巢鴨3-5-18 電話03(917)8287

大谷大学佛教学会編 二刷

佛教学への道しるべ

仏教に関心を抱き仏教への正しい理解を求めている人々に、インド、中国、日本仏教及びインド学への入門のよき指針として大谷大学仏教学会が世に送る仏教学の手引き書。本書により広大な仏教の学的研究の野に誘い導き入れられるであろう。

B6判 二六〇頁
二五〇〇円 二二〇〇円

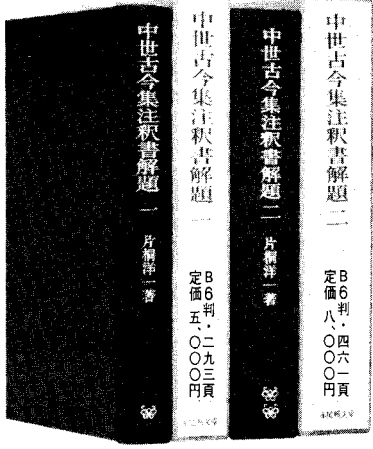
内容目次

- 序
- 第一編 インド佛教学研究への道しるべ
 - 1 原始佛敎 舟橋一哉
 - 2 原始佛敎—外国の文脈— 佐々木現順
 - 3 戒律佛敎 佐々木教悟
 - 4 アビダルマ佛敎 舟橋一哉
 - 5 大乘經典 櫻部一建
 - 6 中觀佛敎 安井広済
 - 7 唯識佛敎 安井広済
 - 8 インド佛敎史 佐々木教悟
 - 9 チベット文獻 稲葉正就
- 第二編 中国佛敎研究への道しるべ
 - 1 中国佛敎研究法私見 横超慧日
 - 2 読解力の養成・必読すべき経論 横超慧日
 - 3 概説書・参考書・基礎資料 横超慧日
 - 4 学会誌と論文集 横超慧日
- 第三編 インド学研究への道しるべ
 - 第一編 インド学散策 雲井昭善
 - 第二編 日本佛敎研究文獻要覧 雲井昭善
- 第四編 白上わか・坂東性純

〒604 京都市中京区三条上町通 文栄堂書店 振替 京都2948 電話(075)231-1712

第三巻佛敎および定価

- 資料篇 五〇六頁 B6判／布製上製本
- 解題篇 三四二頁 B6判／布製上製本
- 二巻に分冊、函入一 定価一八、〇〇〇円



- 赤尾照文堂解題・索引・索 6 謡曲二百五十番集索引 大谷篤成編 A5判 三四〇頁 定価一九〇〇円
- 5 古俳書目録索引 乾 裕幸編 A5判 三四〇頁 定価六〇〇円

お申込みは、直接弊社、又は最寄りの書店まで
京都市中京区河原町通六角下る
TEL (221) 1588・(211) 7773 振替京都3326

赤尾照文堂

原田伴彦著作集

全七巻

第三回配本・3 茶道文化史 (六月下旬刊)

- 1 戦国社会史 二、八〇〇円
- 2 日本女性史 二、九〇〇円
- 4 部落問題論 八月下旬刊
- 5 近世社会史
- 6 人物史夜話
- 7 社会と文化

能勢朝次著作集編集委員会編

能勢朝次著作集

全十巻

第一回配本・2 中世文学研究 (六月下旬刊)

- 1 国文学研究 (第十回)
- 3 近世文学研究 (第七回)
- 4 能楽研究(一) (第三回)
- 5 能楽研究(二) (第八回)
- 6 能楽研究(三) (第六回)
- 7 連歌研究 (第五回)
- 8 連歌俳諧研究 (第四回)
- 9 俳諧研究(一) (第九回)
- 10 俳諧研究(二) (第二回)

岡山縣古文書集

全四輯

藤井駿・水野恭一郎編

昭和二十八年から三十一年にかけて刊行された『岡山縣古文書集』第一輯から第三輯を復刻、さらにその後新たに発見された文書を取り入れる第四輯を刊行、人名・寺社名・地名の総索引を添える。

▼A5判・各巻平均四〇〇頁／八月月上旬刊

思文閣出版

京都市左京区田中関町二二七／〇七五五七五一七七八一
 東京都千代田区三崎町二二二〇／〇三二六三二六三四八

大正期の全復刻第二九回〜第五一回(自大正元年)

帝國衆議院委員會議録 全五〇巻

帝國貴族院委員會議事速記録 全五〇巻

国会審議の実質上の本舞台が本会議ではなく、委員会であることは、戦前・戦後を通じて変わらない。その審議記録が日本近代の政治・外交・法律・経済・教育その他各分野の研究において、不可欠の第一級資料であることは周知の事実である。委員会記録には速記録と会議録との二種類があり、これが揃ってはじめて審議の全容が明らかとなる。帝國議事本会議の速記録はすでに復刻されたが、委員会全記録については、今回、関係各方面のご援助を得て、はじめて公刊されることになった。大正時代は明治と昭和の二つの時代にはさまれながら、デモクラシーの展開において独自の個性をもち、戦後の民主政治と内面的に深い関連をもつ。しかも研究は未発達である。本企画はまずこの大正時代より出発し、続いて、明治・昭和の全時代に及ぶ構想をもつものである。

■B5判(貴族院會議録はA5判)・クロス装・平均六六〇頁
 ■毎月二冊刊行(衆一冊・貴一冊) 第一・二回配本好評発売中
 ■定価 各冊八、〇〇〇円(貴族院會議録は六、五〇〇円)

日本学士院編／小川鼎三・緒方富雄・藤井尚久等著

明治前日本医学史(新訂版)全五巻

■A5判・9ポ組・総クロス装・本文三、〇七九頁・件名索引三二頁
 人名索引二六頁・図版多数 定価 五八、〇〇〇円

日本学士院編／赤松金芳・清水藤太郎・岡西為人・高橋真太郎共著

明治前日本薬物学史(新訂版)全二巻

■A5判・9ポ組・総クロス装・本文九一三頁・人名索引一二頁・書名索引一五頁・図版多数 定価 一八、〇〇〇円



臨川書店

本社 京都市左京区今出川通川端東入50 M 電話 075-781-6166
 東京支店 千代田区飯田橋四一七一六曙ビル 電話 03-263-4320